

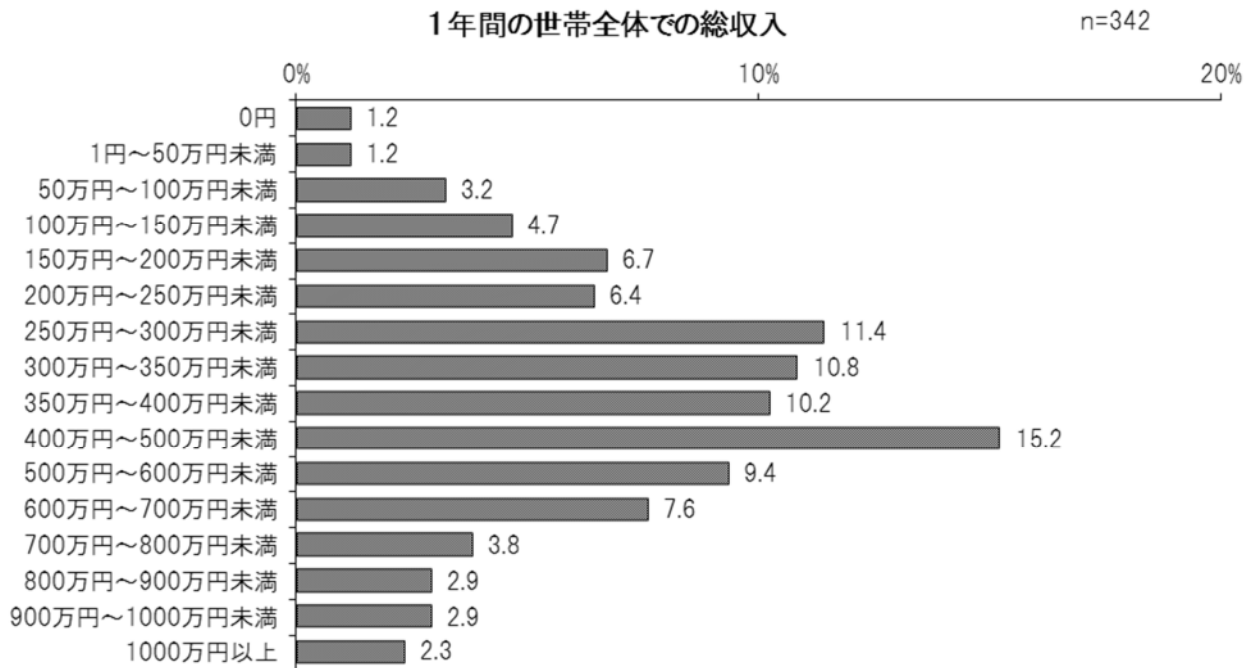
(6) 家計について

問 26

年収について（総収入）

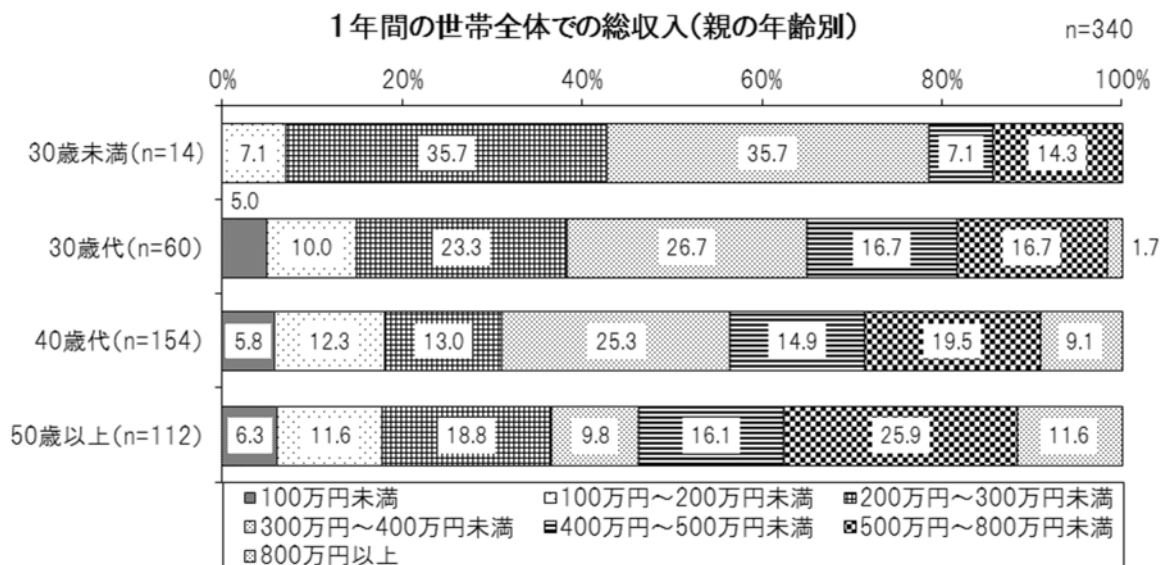
あなたの世帯の平成28年1月1日から平成28年12月31日までの1年間の総収入額（見込）はいくらですか。次ページの表から選択してください。

平成28年のボーナスを含む年間総収入は、「400万円～500万円未満」と回答した人の割合が15.2%と最も高く、次いで「250万円～300万円未満」が11.4%、「300万円～350万円未満」が10.8%の順となっている。また、世帯の平均総収入は413.5万円となっている。



① 親の年齢別

親の年齢別に1年間の世帯全体での総収入をみると、「400万円～500万円未満」と回答した人の割合は30歳代が16.7%と最も高く、次いで50歳以上が16.1%の順となっている。

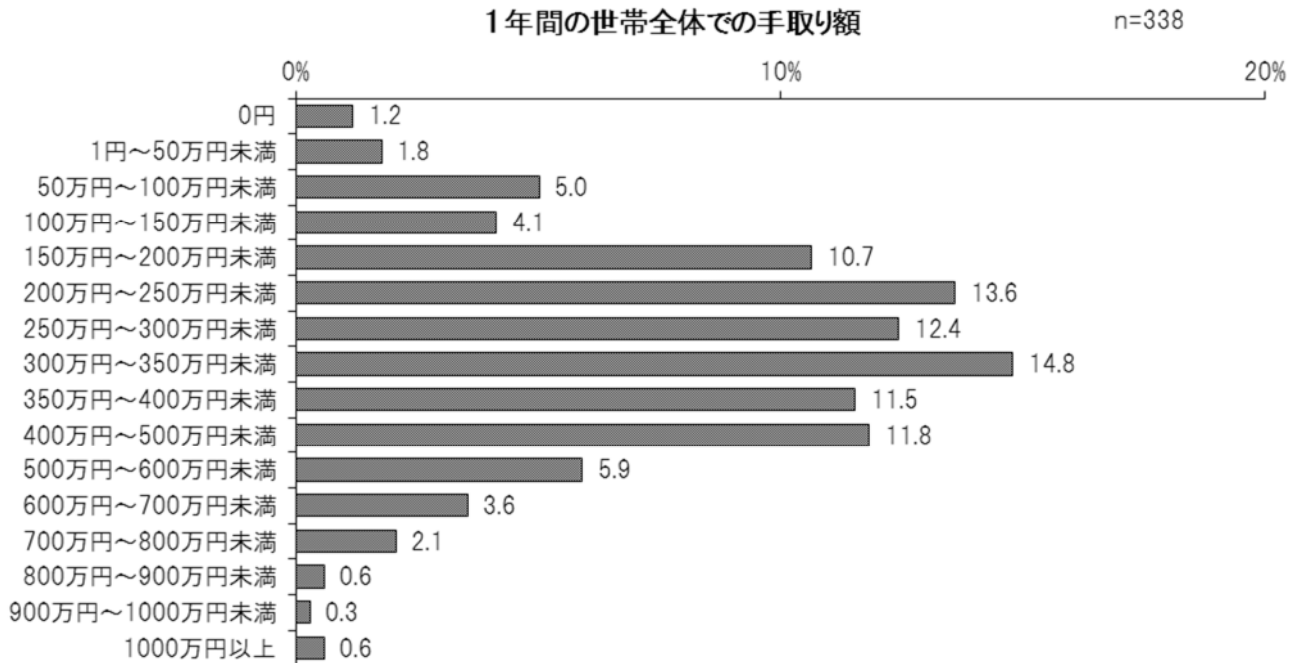


問 27

年収について（手取り額）

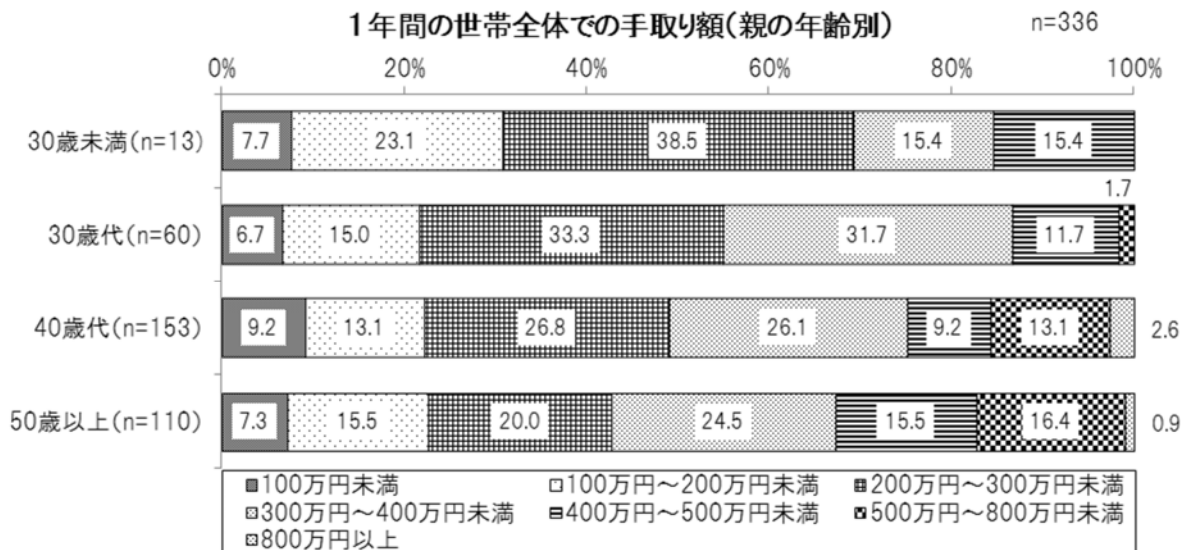
あなたの世帯の平成28年1月1日から平成28年12月31日までの1年間の手取り額（見込）はいくらですか。次ページの表から選択してください。

平成28年のボーナスを含む年間手取り額は、「300万円～350万円未満」と回答した人の割合が14.8%と最も高く、次いで「200万円～250万円未満」が13.6%、「250万円～300万円未満」が12.4%の順となっている。また、世帯の平均手取り額は322.3万円となっている。



①親の年齢別

親の年齢別に1年間の世帯全体での手取り額をみると、「300万円～400万円未満」と回答した人の割合は30歳代が31.7%と最も高く、次いで40歳代が26.1%の順となっている。



月収について

問 28

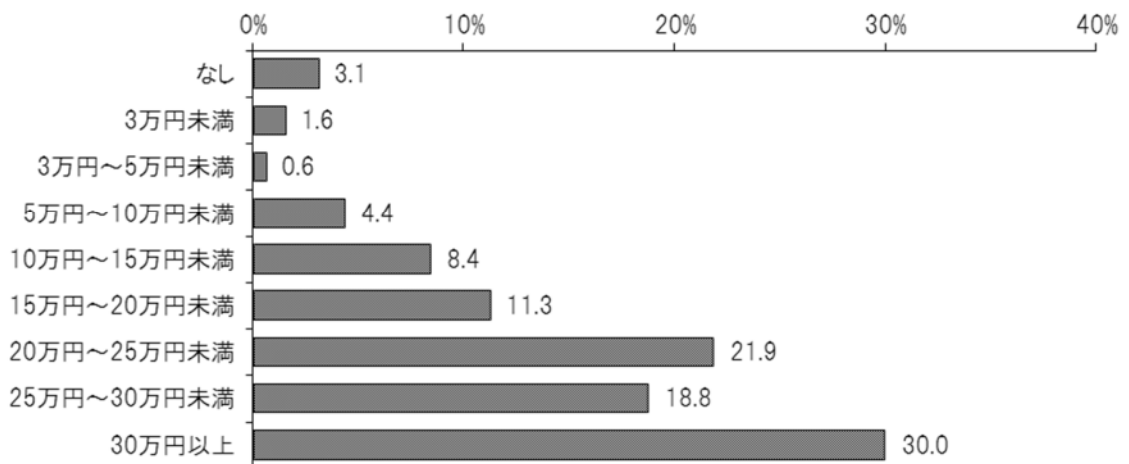
現在あなたの世帯では、1か月平均いくら収入がありますか。

また、ア～サの内訳についてはどうですか。それぞれ次ページの表から該当する番号を選び、その番号を口内に記入してください。該当する収入がない場合は「1」を記入してください。

世帯全体の1か月の平均収入は、「30万円以上」と回答した人の割合が30.0%と最も高く、次いで「20万円～25万円未満」が21.9%、「25万円～30万円未満」が18.8%の順となっている。また、世帯の1か月の収入の内訳をみると、「あなたの勤労収入」と回答した人の割合が84.5%と最も高く、次いで「児童扶養手当、遺児手当」が42.1%、「あなた以外の世帯員の勤労収入合計」が21.5%の順となっている。

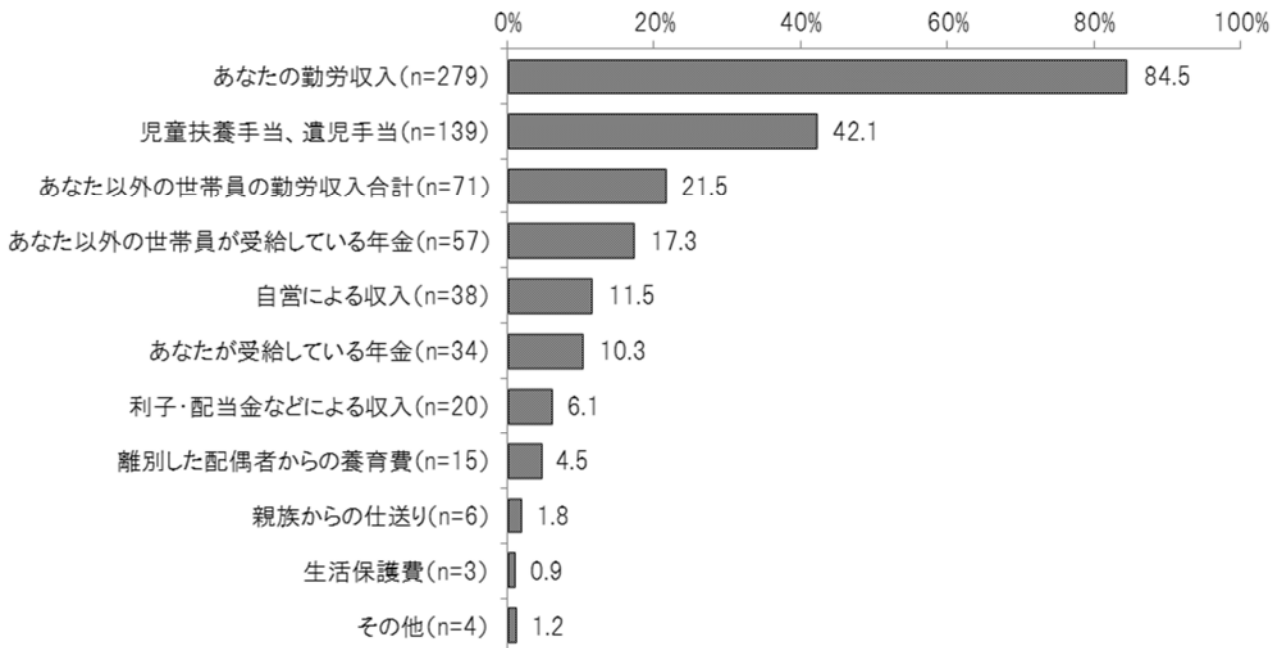
世帯全体の1か月の平均収入

n=320



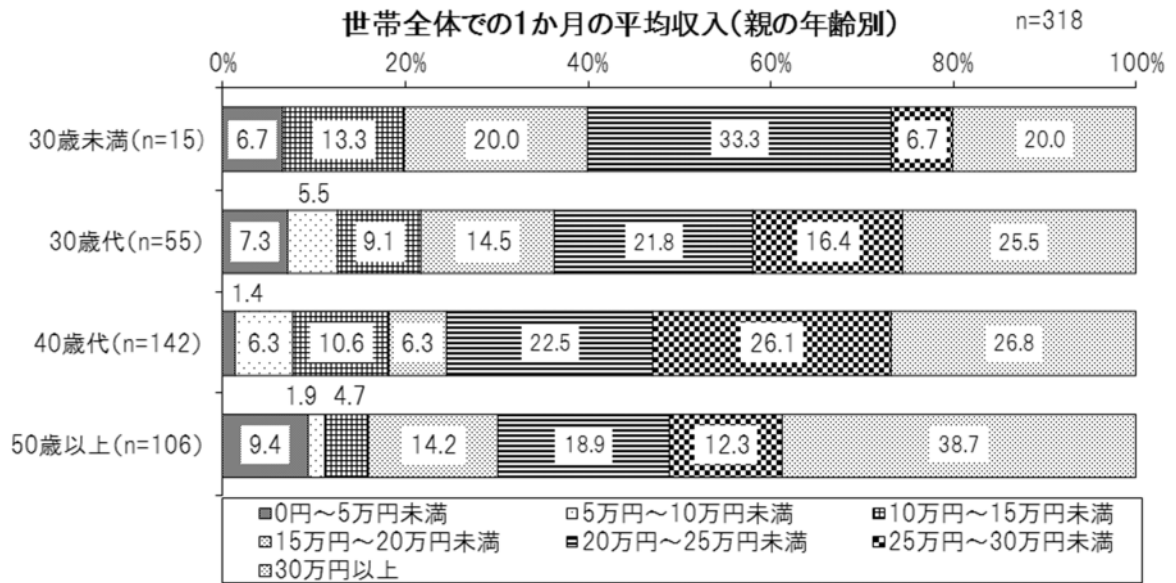
月収の内訳

n=330



①親の年齢別

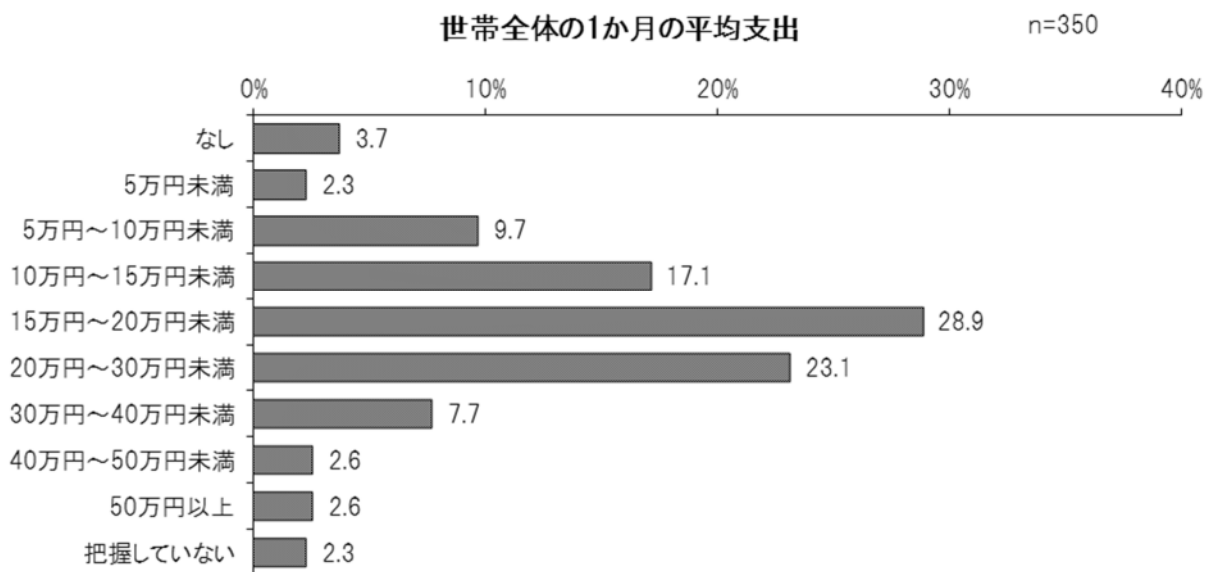
親の年齢別に世帯全体での1か月の平均収入をみると、「30万円以上」と回答した人の割合は、50歳以上が38.7%と最も高く、次いで40歳代が26.8%の順となっている。



問 29-A

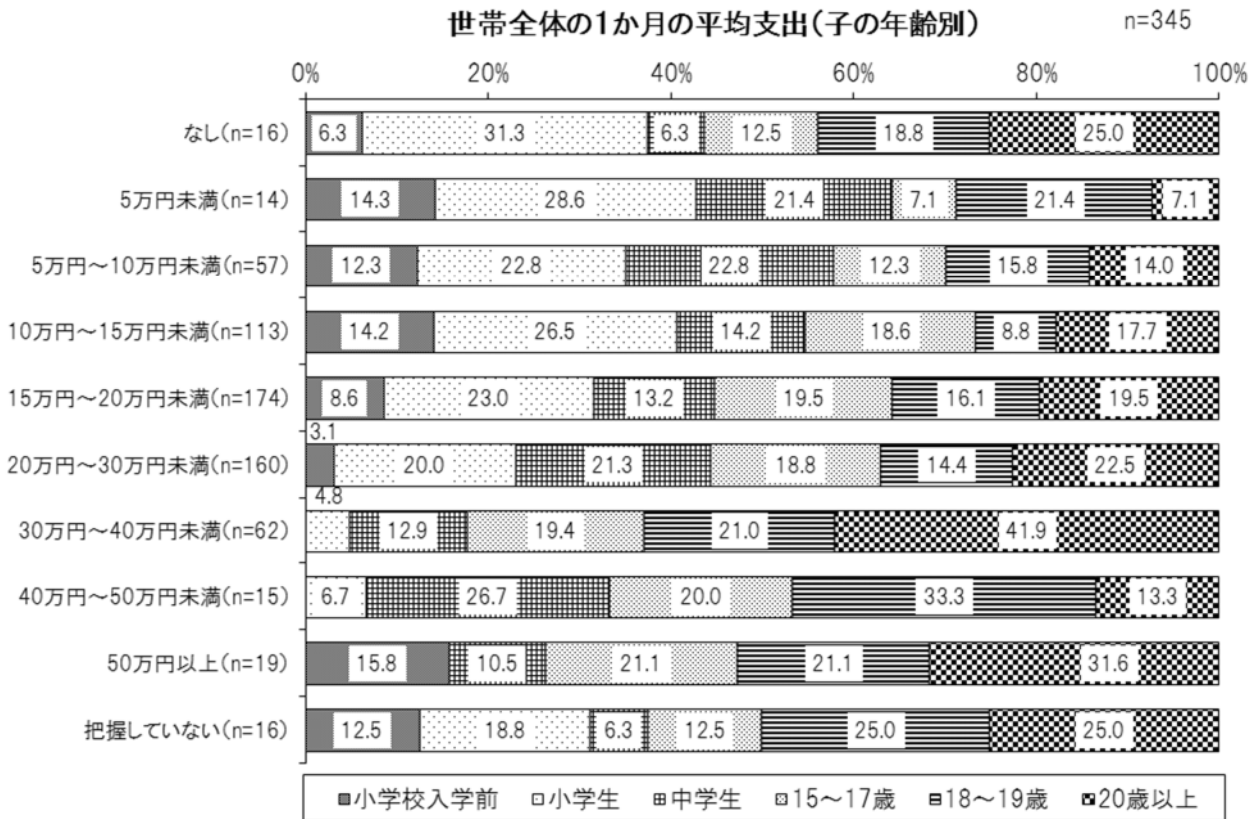
世帯の家計支出についてお伺いします。
あなたのご家庭の1か月の平均的な支出（住宅ローン等の借金返済含む・税額等は含まない）はどれくらいですか。

世帯全体の1か月の平均支出は、「15万円~20万円未満」と回答した人の割合が28.9%と最も高く、次いで「20万円~30万円未満」が23.1%、「10万円~15万円未満」が17.1%の順となっている。



①子の年齢別

子の年齢別に世帯全体の1か月の平均支出をみると、「15万円～20万円未満」と回答した人では、小学生の子を持つ世帯の割合が23.0%と最も高く、次いで15～17歳と20歳以上の子を持つ世帯の割合がそれぞれ19.5%の順となっている。

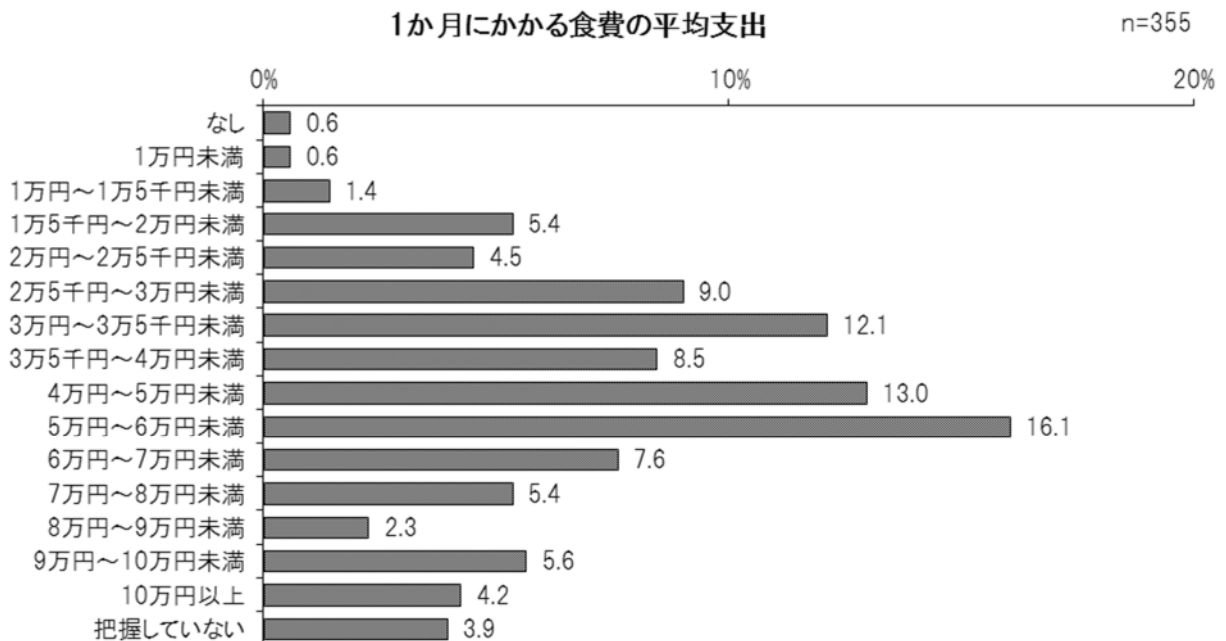


問 29-B

世帯の家計支出についてお伺いします。

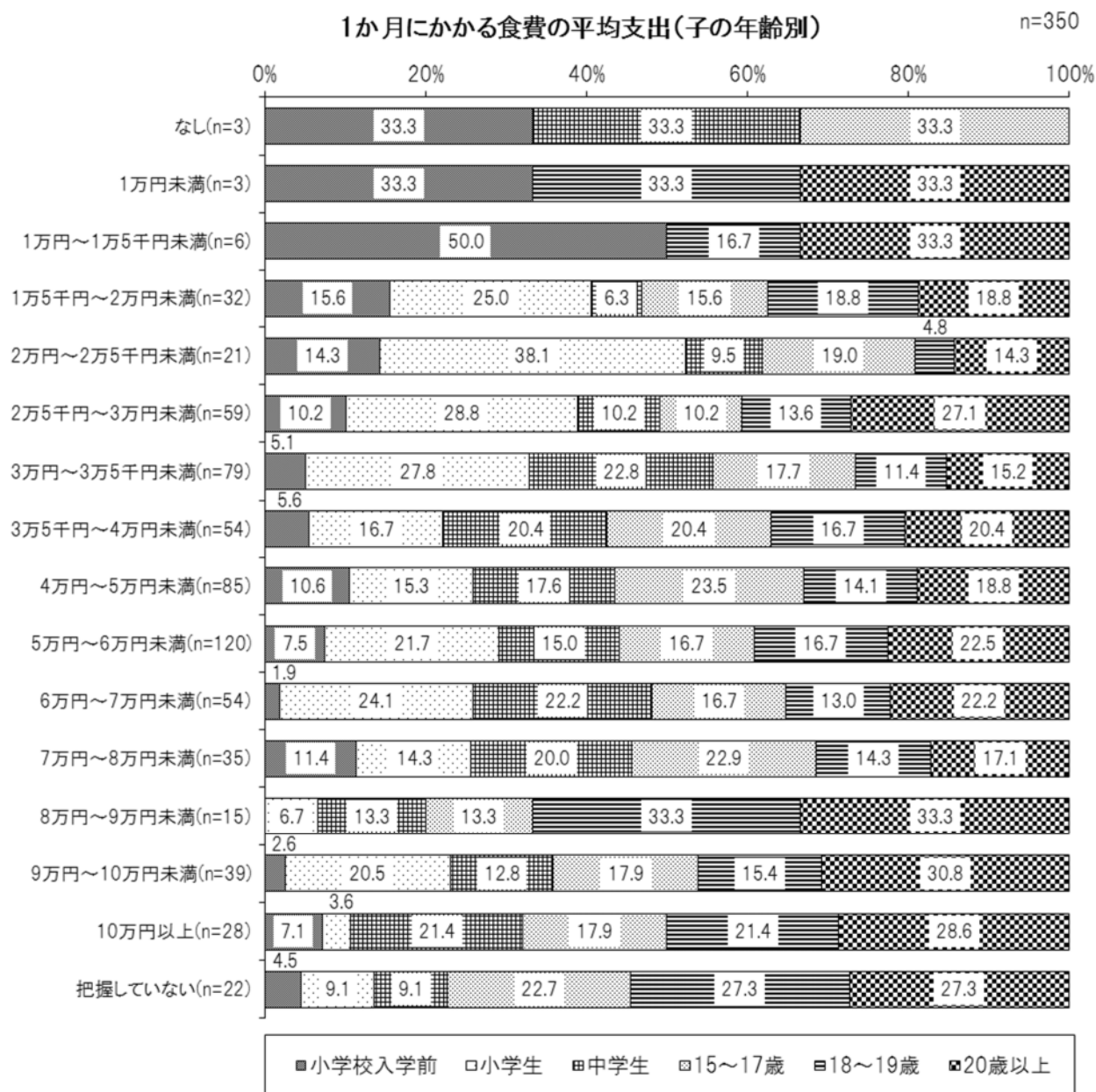
あなたのご家庭の1か月の食費についての平均的な支出はどれくらいですか。

1か月にかかる食費の平均支出は、「5万円～6万円未満」と回答した人の割合が16.1%と最も高く、次いで「4万円～5万円未満」が13.0%、「3万円～3万5千円未満」が12.1%の順となっている。



①子の年齢別

子の年齢別に1か月にかかる食費の平均支出をみると、「5万円～6万円未満」と回答した人では、20歳以上の子を持つ世帯の割合が22.5%と最も高く、次いで小学生の子を持つ世帯の割合が21.7%の順となっている。

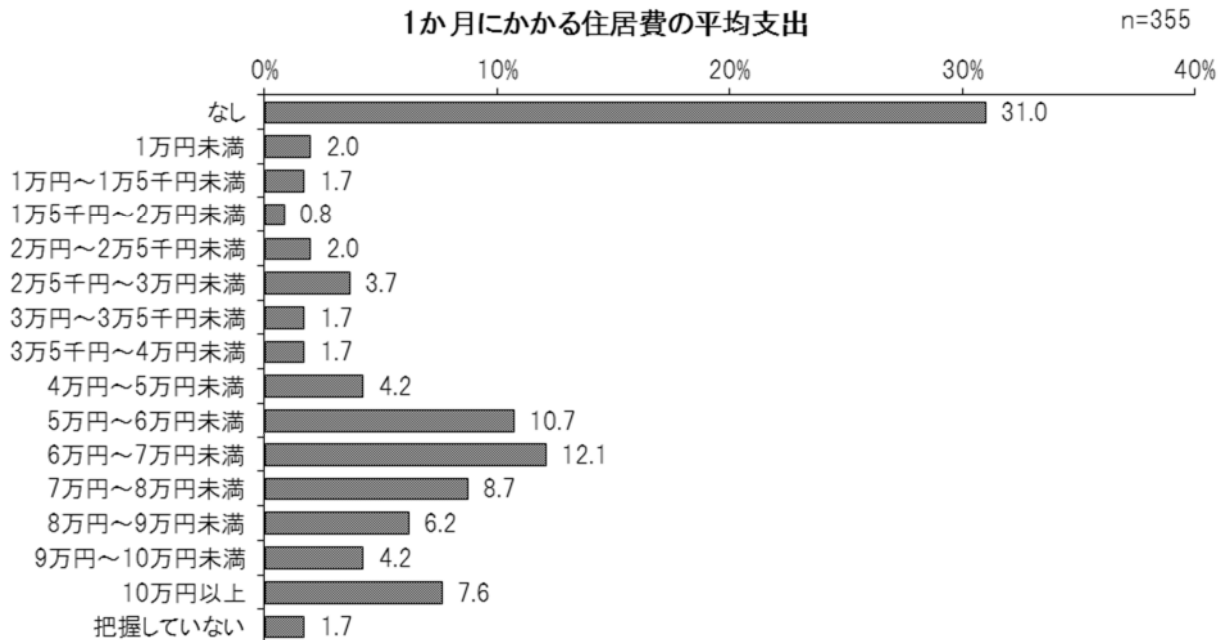


問 29-C

世帯の家計支出についてお伺いします。

あなたのご家庭の1か月の住居費（家賃・住宅ローン）についての平均的な支出はどれくらいですか。

1か月にかかる住居費の平均支出は、「なし」と回答した人の割合が31.0%と最も高く、次いで「6万円～7万円未満」が12.1%、「5万円～6万円未満」が10.7%の順となっている。

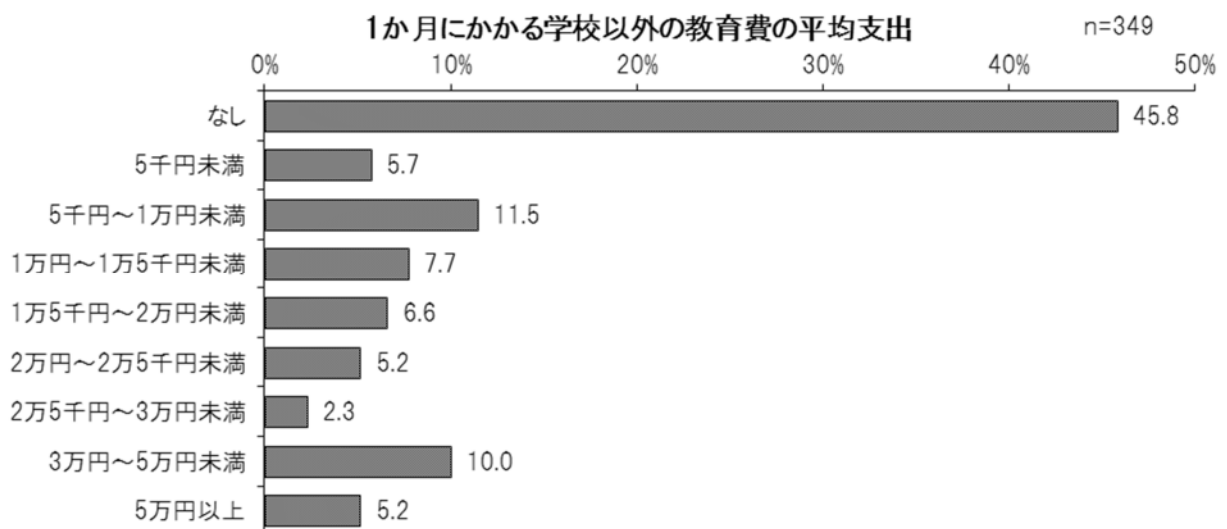


問 29-D

世帯の家計支出についてお伺いします。

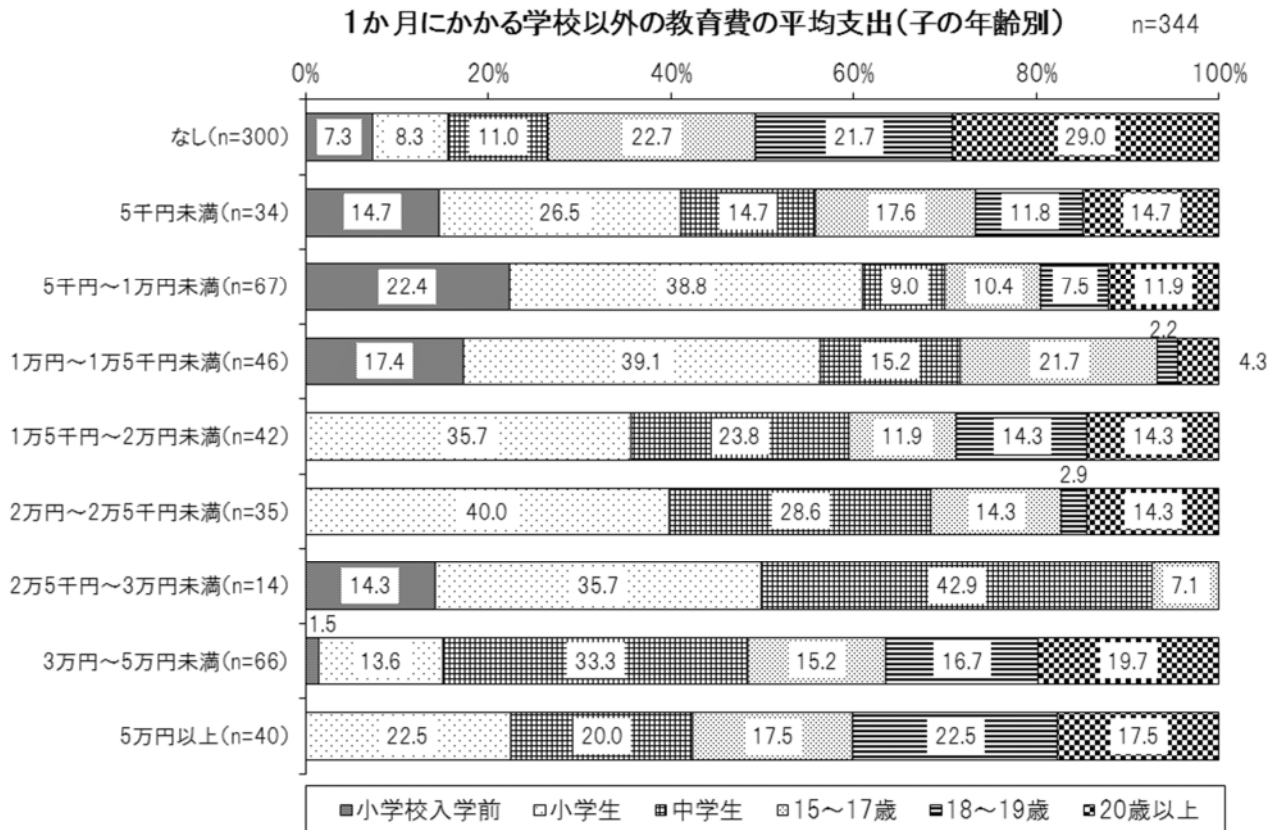
お子さんの学校以外の教育（学習塾や習い事）にかかる1か月あたりの平均の支出はどれくらいですか。

子どもの学校以外の教育（学習塾や習い事）にかかる1か月あたりの平均の支出は、「なし」と回答した人の割合が45.8%と最も高く、次いで「5千円～1万円未満」が11.5%、「3万円～5万円未満」が10.0%の順となっている。



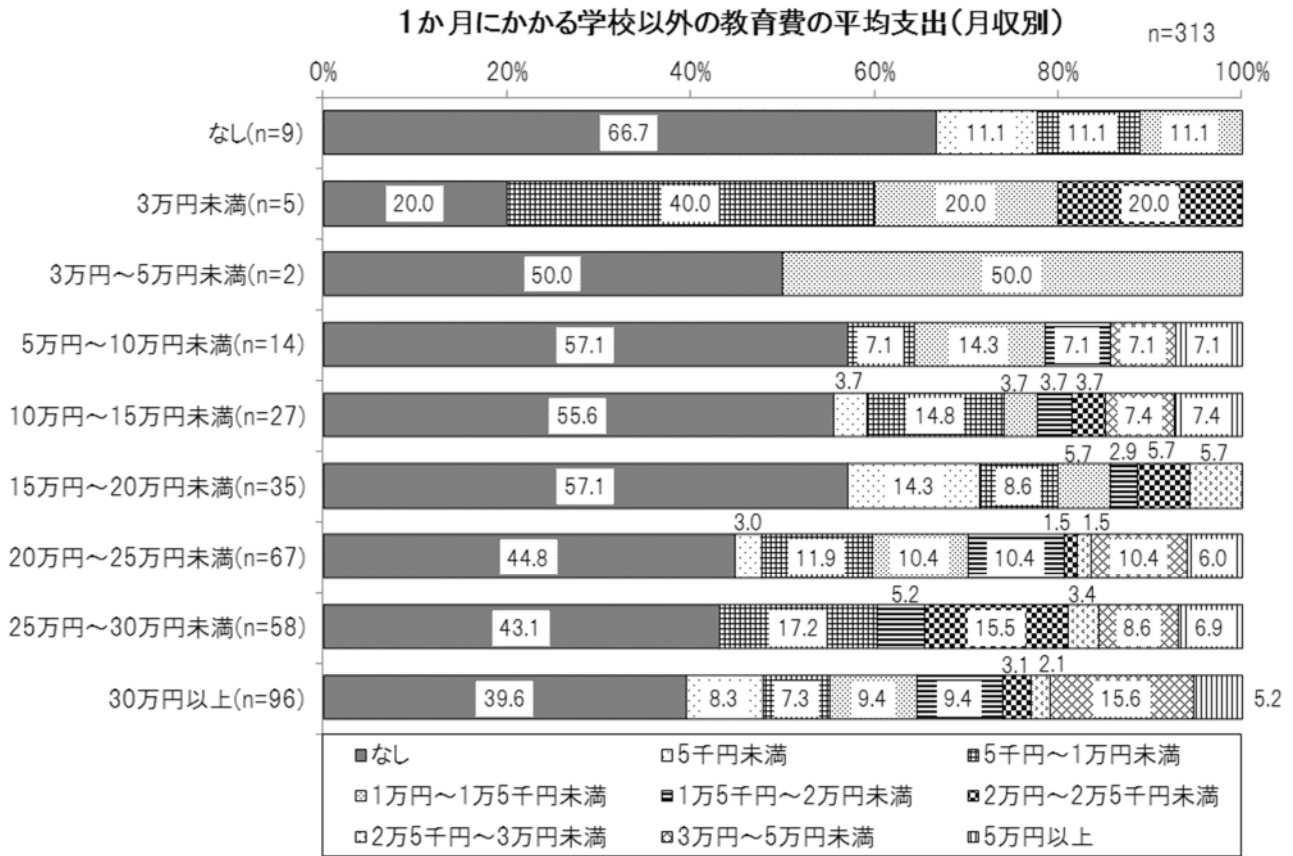
①子の年齢別

子の年齢別に子どもの学校以外の教育（学習塾や習い事）にかかる1か月あたりの平均の支出をみると、「5万円～1万円未満」と回答した人では、小学生の子を持つ世帯の割合が38.8%と最も高く、次いで小学校入学前の子を持つ世帯の割合が22.4%の順となっている。



①月収別

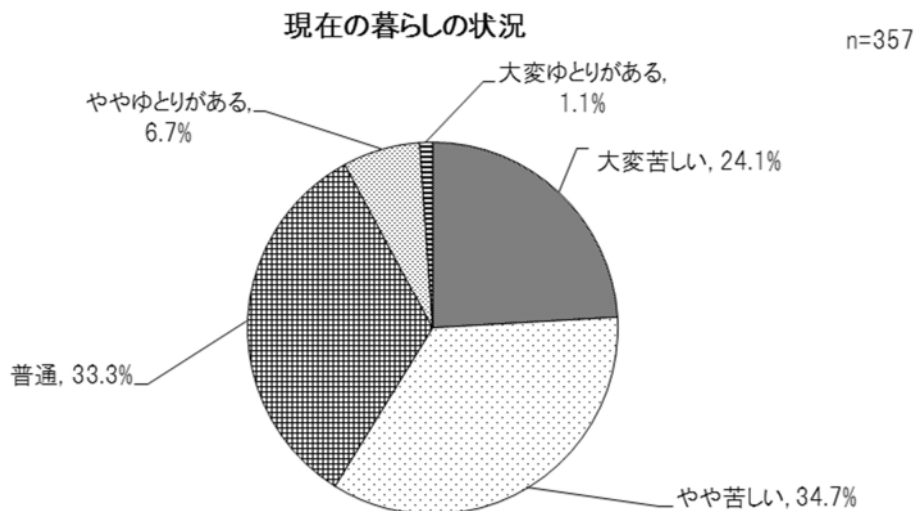
月収別に子どもの学校以外の教育（学習塾や習い事）にかかる1か月あたりの平均の支出をみると、月収「30万円以上」の世帯では、「なし」と回答した人の割合が39.6%、「3万円～5万円未満」が15.6%となっている。



問 30

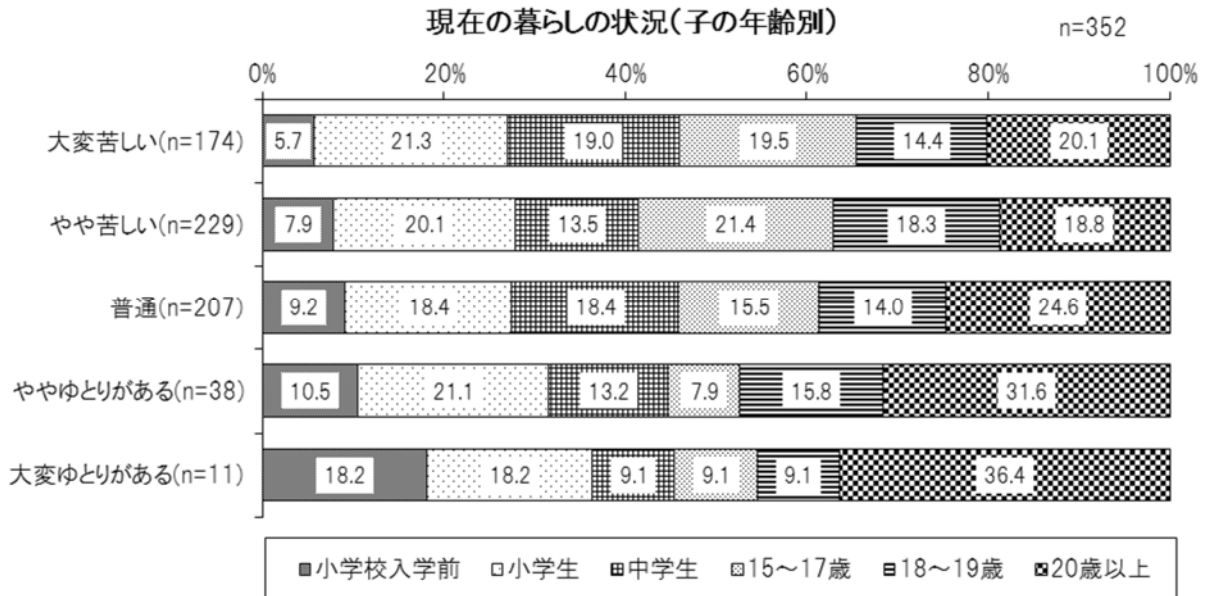
あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

現在の暮らしの状況は、「やや苦しい」と回答した人の割合が34.7%と最も高く、次いで「普通」が33.3%、「大変苦しい」が24.1%の順となっている。また、「苦しい（大変苦しい+やや苦しい）」と回答した人の割合が58.8%となっている。



①子の年齢別

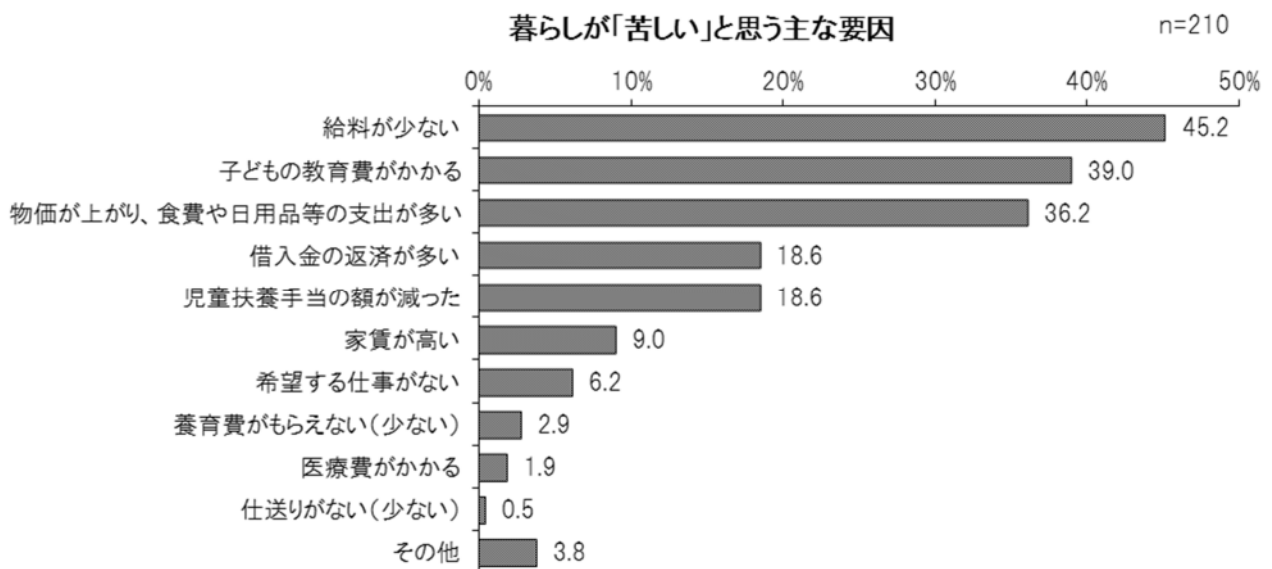
子の年齢別に現在の暮らしの状況をみると、現在の暮らしが「苦しい（大変苦しい+やや苦しい）」と回答した人の割合は、小学生の子を持つ世帯、15～17歳の子を持つ世帯の割合がそれぞれ20.6%と最も高く、次いで20歳以上の子を持つ世帯が19.4%の順となっている。



問 30-1

「1 大変苦しい 2 やや苦しい」とお答えになった方にお尋ねします。その主な要因は、何だとお考えですか。該当する要因を2つ以内でお答えください。

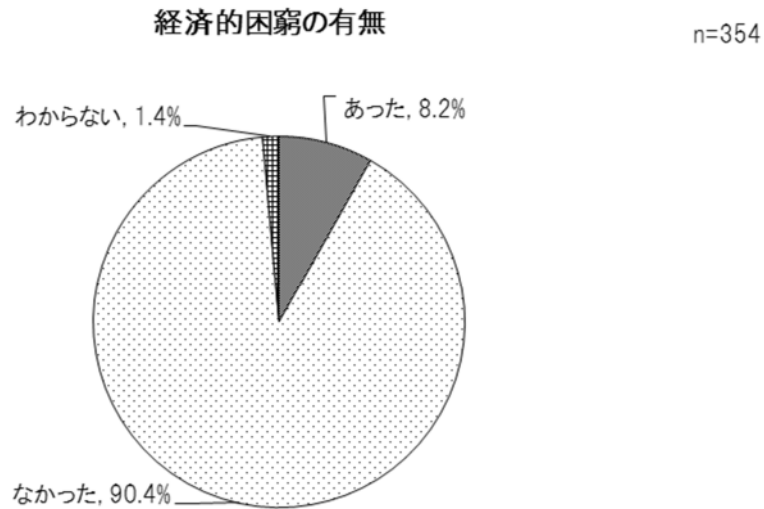
現在の暮らしが「苦しい（大変苦しい+やや苦しい）」と思う主な要因は、「給料が少ない」と回答した人の割合が45.2%と最も高く、次いで「子どもの教育費がかかる」が39.0%、「物価が上がり、食費や日用品等の支出が多い」が36.2%の順となっている。



問 31

あなたのご家庭では、お子さんが生まれてから現在までの間に、経済的な理由による料金滞納のために、電気、ガス、水道のいずれかを止められたことがありましたか。

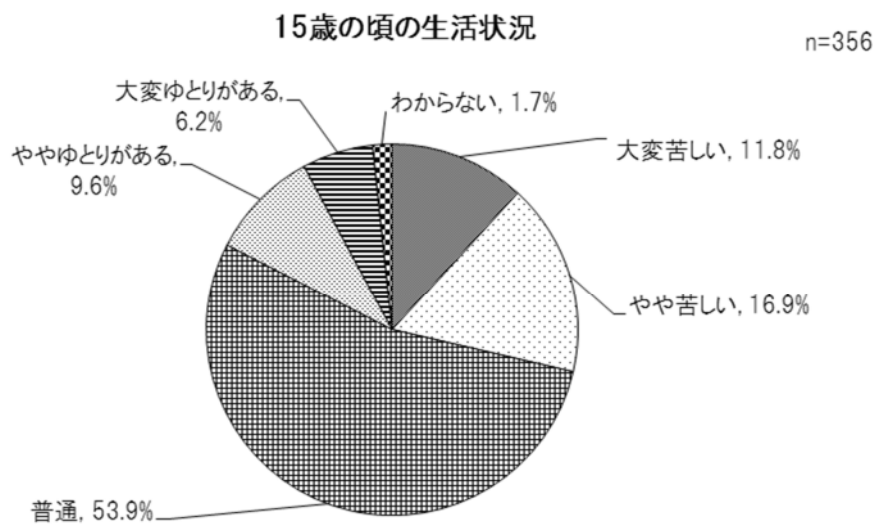
経済的困窮により、電気、水道、ガスのいずれかを止められた経験が、「あった」と回答した人の割合が 8.2%となっている。一方で、「なかった」と回答した人の割合が 90.4%となっている。



問 32

あなたが 15 歳の頃のご家庭の暮らし向きはどうだったと感じますか。

父子世帯の父親が 15 歳の頃の生活状況は、「普通」と回答した人の割合が 53.9%と最も高く、次いで「やや苦しい」が 16.9%、「大変苦しい」が 11.8%の順となっている。

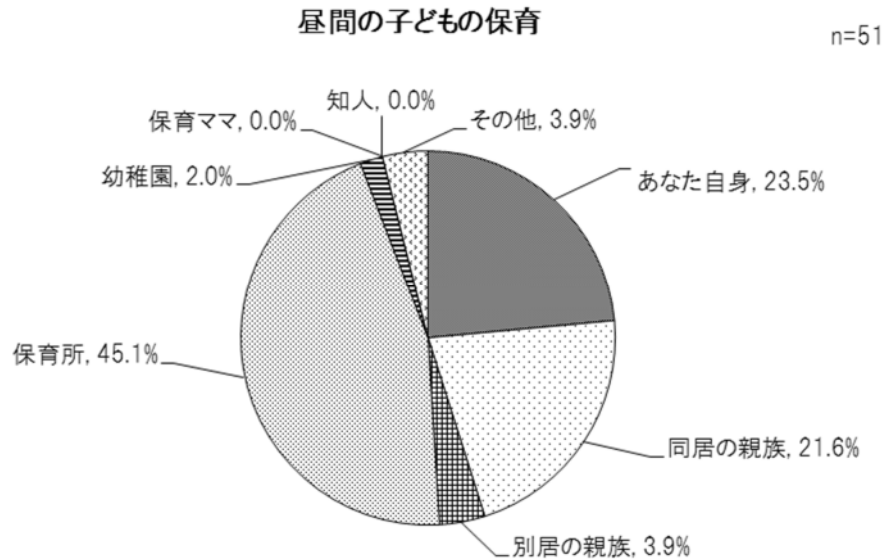


(7) お子さんについて

問 33

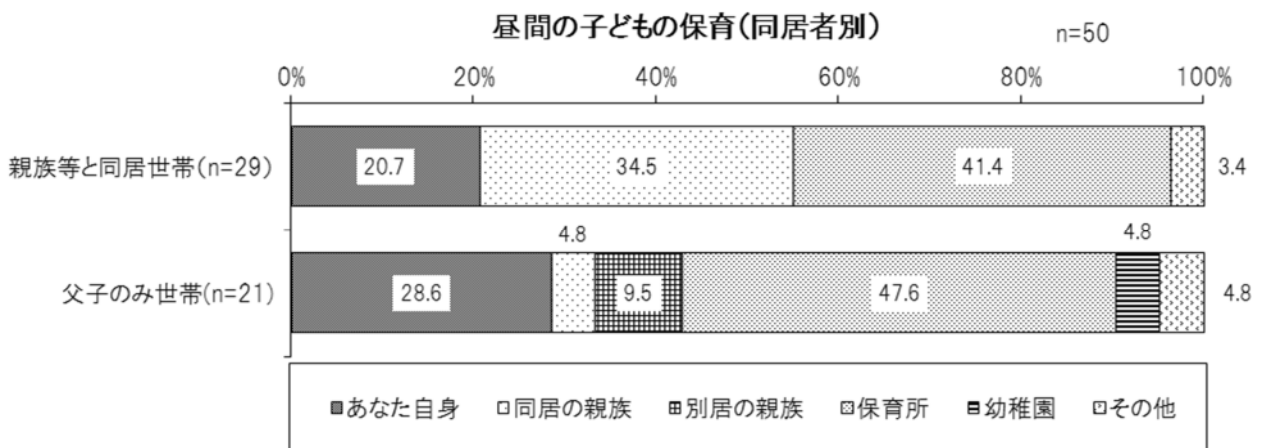
【小学校入学前のお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。】
 昼間、そのお子さんの保育（世話）は主にどなたがなされていますか。

昼間の子どもの保育（世話）は、「保育所」と回答した人の割合が45.1%と最も高く、次いで「あなた自身」が23.5%、「同居の親族」が21.6%の順となっている。



①同居者別

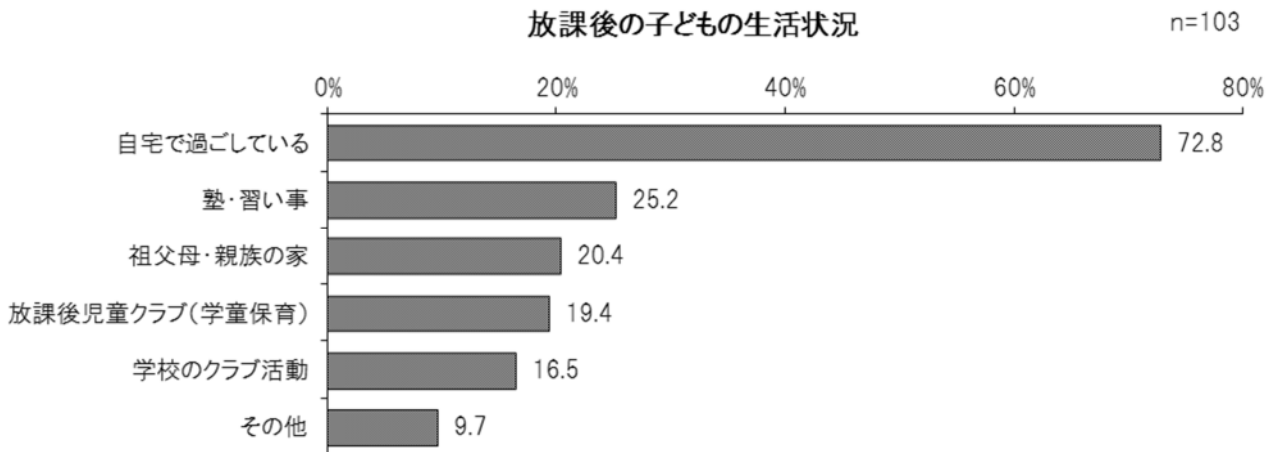
同居者別に昼間の子どもの保育をみると、「保育所」と回答した人の割合は、父子のみ世帯は47.6%、親族等と同居世帯は41.4%となっている。



問 34

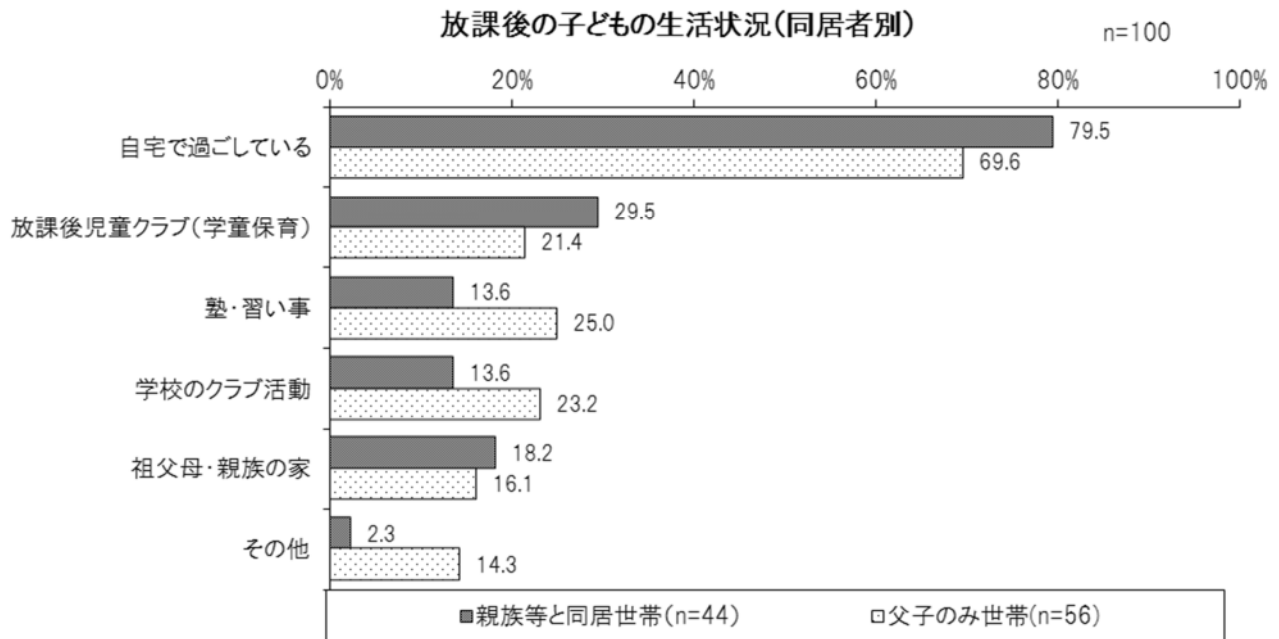
【小学生のお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。】
 放課後、そのお子さんはどのように生活されていますか。主なものを3つ以内でお答えください。

放課後の子どもの生活状況は、「自宅で過ごしている」と回答した人の割合が72.8%と最も高く、次いで「塾・習い事」が25.2%、「祖父母・親族の家」が20.4%の順となっている。



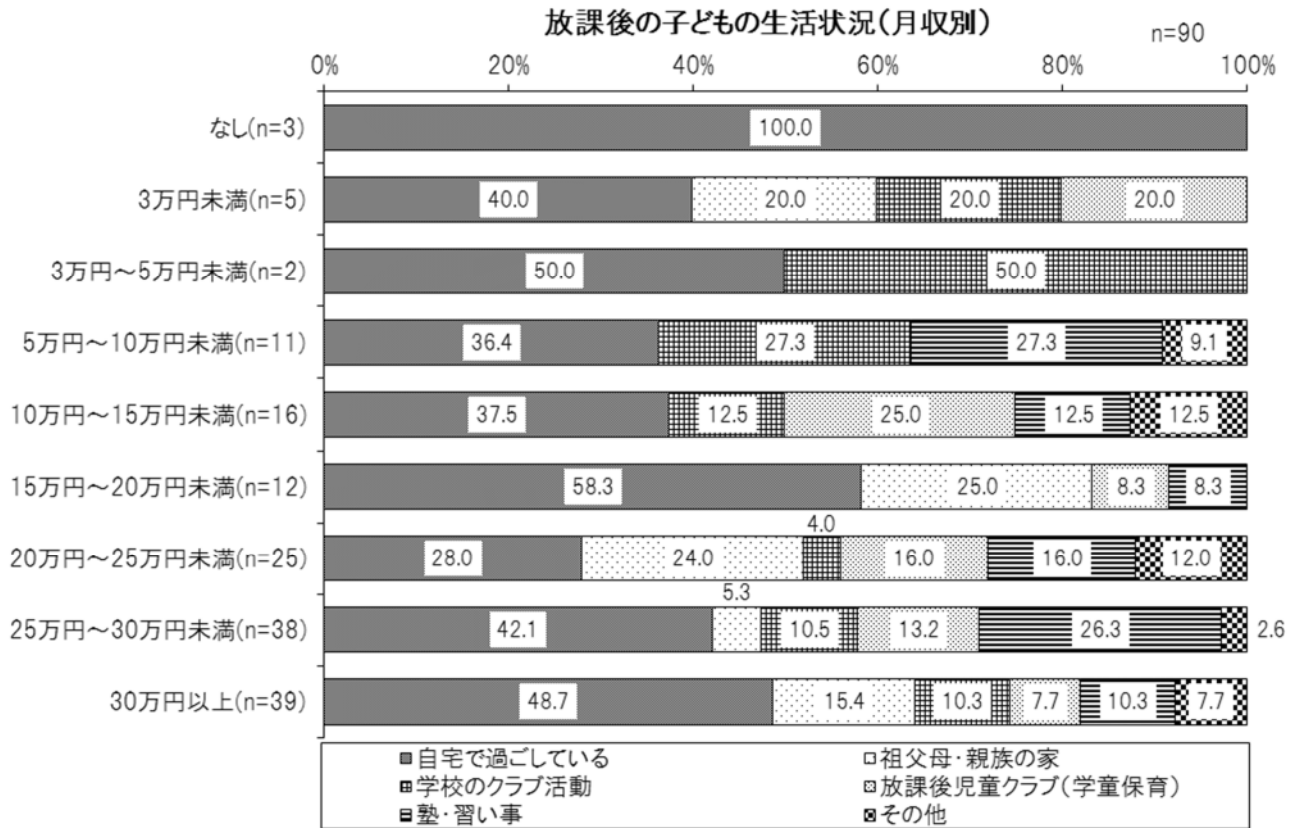
①同居者別

同居者別に放課後の子どもの生活状況をみると、「自宅で過ごしている」と回答した人の割合は、親族等と同居世帯が79.5%、父子のみ世帯が69.6%となっている。



②月収別

月収別に放課後の子どもの生活状況をみると、月収「30万円以上」と回答した人では、「自宅で過ごしている」と回答した人の割合が48.7%と最も高く、次いで「祖父母・親族の家」と回答した人の割合が15.4%の順となっている。



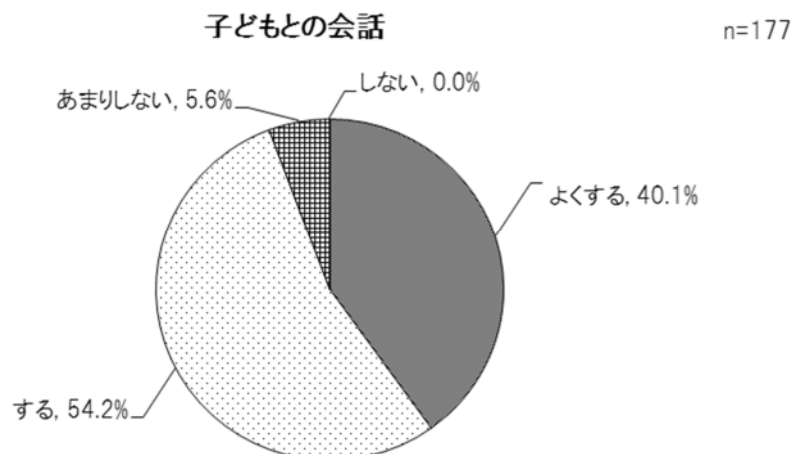
問 35-A

【小・中学生のお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。】

あなたとのお子さんの関係についてお聞きます。

あなたは、お子さんと会話をしますか。

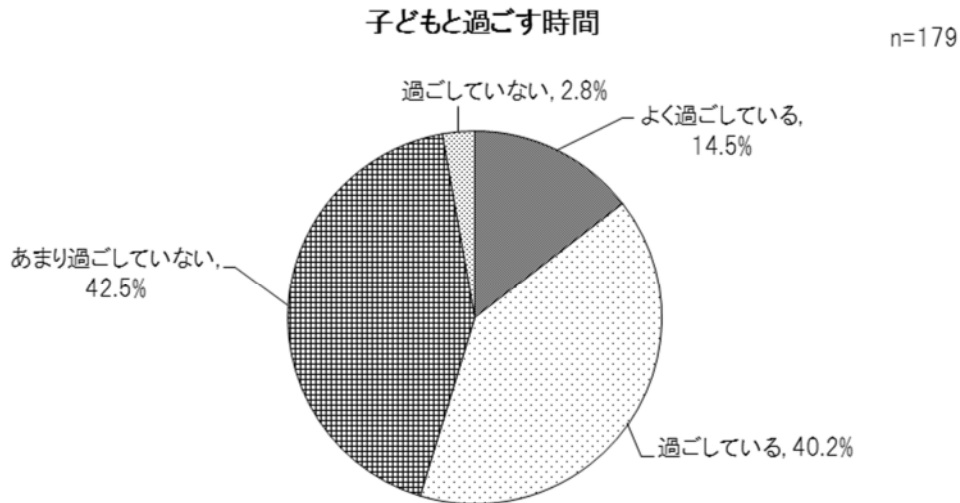
子どもとの関係で、子どもとの会話は、「する」と回答した人の割合が54.2%と最も高く、次いで「よくする」が40.1%となっており、「会話をする(よくする+する)」と回答した人の割合が94.3%となっている。一方で、「会話をあまりしない」と回答した人の割合が5.6%となっている。



問 35-B

【小・中学生のお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。】
あなたとそのお子さんの関係についてお聞きします。
あなたは、お子さんと十分時間を過ごしていますか。

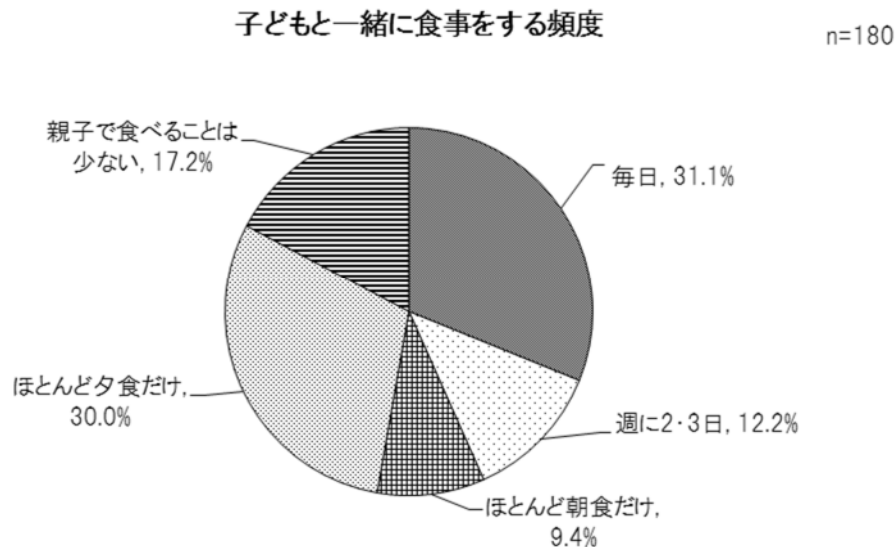
子どもと過ごす時間は、「あまり過ごしていない」と回答した人の割合が 42.5%と最も高く、次いで「過ごしている」が 40.2%となっている。子どもと過ごす時間を「過ごしている（よく過ごしている+過ごしている）」と回答した人の割合が 54.7%となっている。一方で、「過ごしていない（あまり過ごしていない+過ごしていない）」と回答した人の割合が 45.3%となっている。



問 35-C

【小・中学生のお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。】
あなたとそのお子さんの関係についてお聞きします。
あなたは、お子さんと朝・夕の食事を一緒に食べますか。

子どもと一緒に食事をする頻度は、「毎日」と回答した人の割合が 31.1%と最も高く、次いで「ほとんど夕食だけ」が 30.0%、「親子で食べることは少ない」が 17.2%の順となっている。



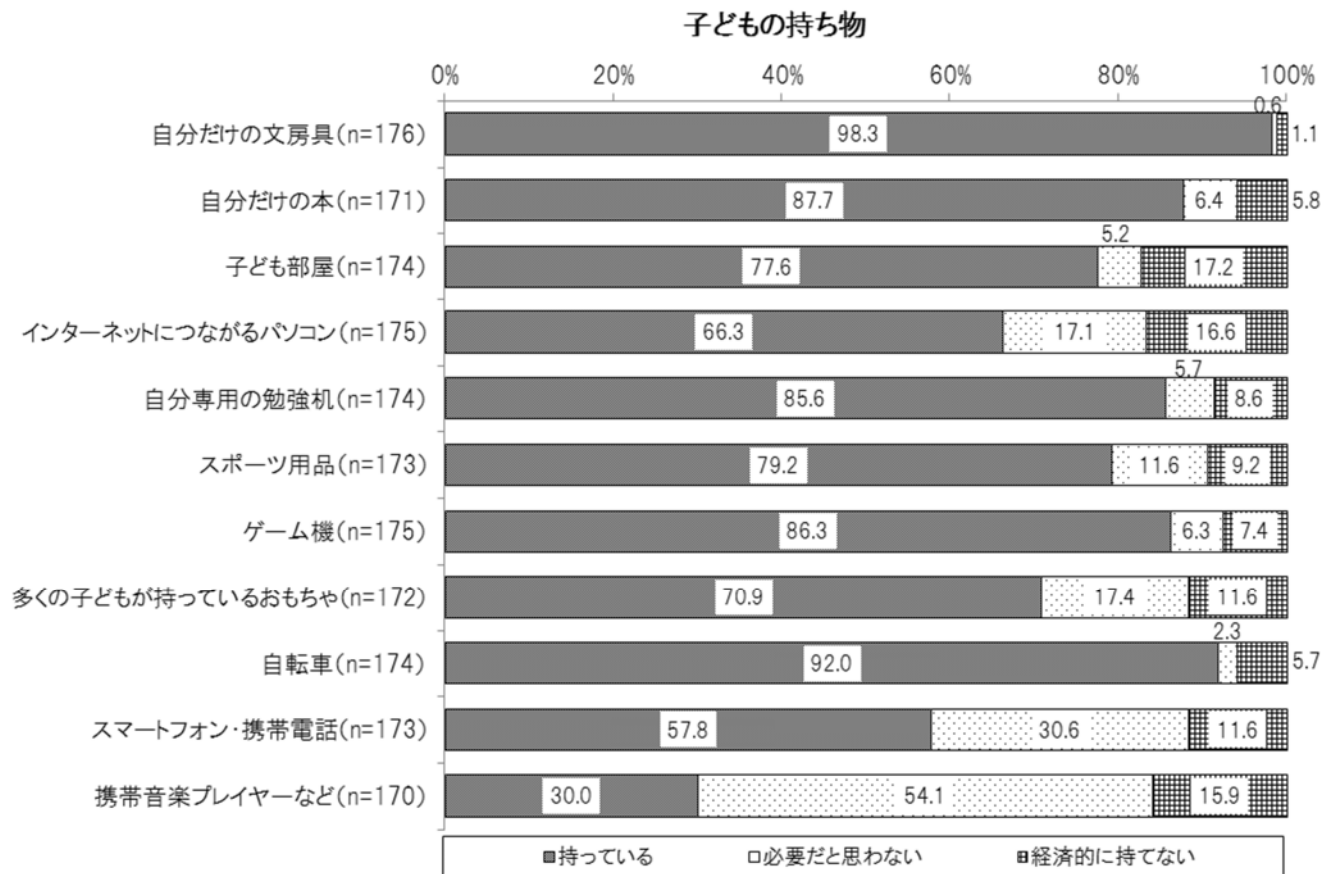
問 36

【小・中学生のお子さんがいいらっしゃる方のみお答えください。】
 あなたのご家庭では、お子さん用の次のものをお持ちですか。ア～サのそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。（それぞれ○は1つ）

子どもの持ち物を種類別にみると、「持っている」持ち物は、「自分だけの文房具」と回答した人の割合が 98.3%と最も高く、次いで「自転車」が 92.0%、「自分だけの本」が 87.7%の順となっている。

また、「必要だと思わない」持ち物は、「携帯音楽プレイヤーなど」と回答した人の割合が 54.1%と最も高く、次いで「スマートフォン・携帯電話」が 30.6%、「多くの子どもが持っているおもちゃ」が 17.4%の順となっている。

そして、「経済的に持てない」持ち物は、「子ども部屋」と回答した人の割合が 17.2%と最も高く、次いで「インターネットにつながるパソコン」が 16.6%、「携帯音楽プレイヤーなど」が 15.9%の順となっている。



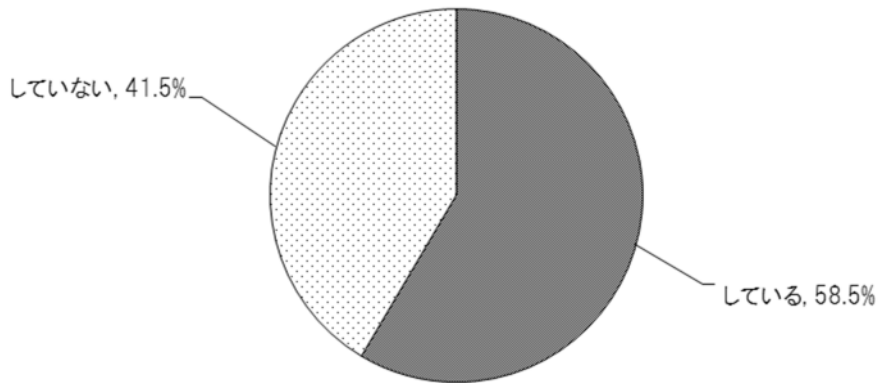
問 37

【小・中学生のお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。】
あなたのご家庭では、お子さんのために積み立て（預貯金）や学資保険などに加入していますか。

子どものための積み立てや学資保険の加入は、「している」と回答した人の割合が 58.5%となっている。一方で、「していない」と回答した人の割合が 41.5%となっている。

子どものための積み立てや学資保険

n=176



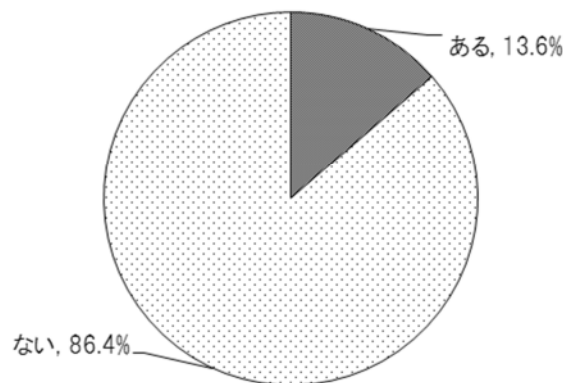
問 38

【小・中学生のお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。】
過去 1 年間に医療機関でお子さんを受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありますか。

過去 1 年間に、子どもを医療機関に受診させなかったことが「ある」と回答した人の割合が 13.6%となっている。一方で、「ない」と回答した人の割合が 86.4%となっている。

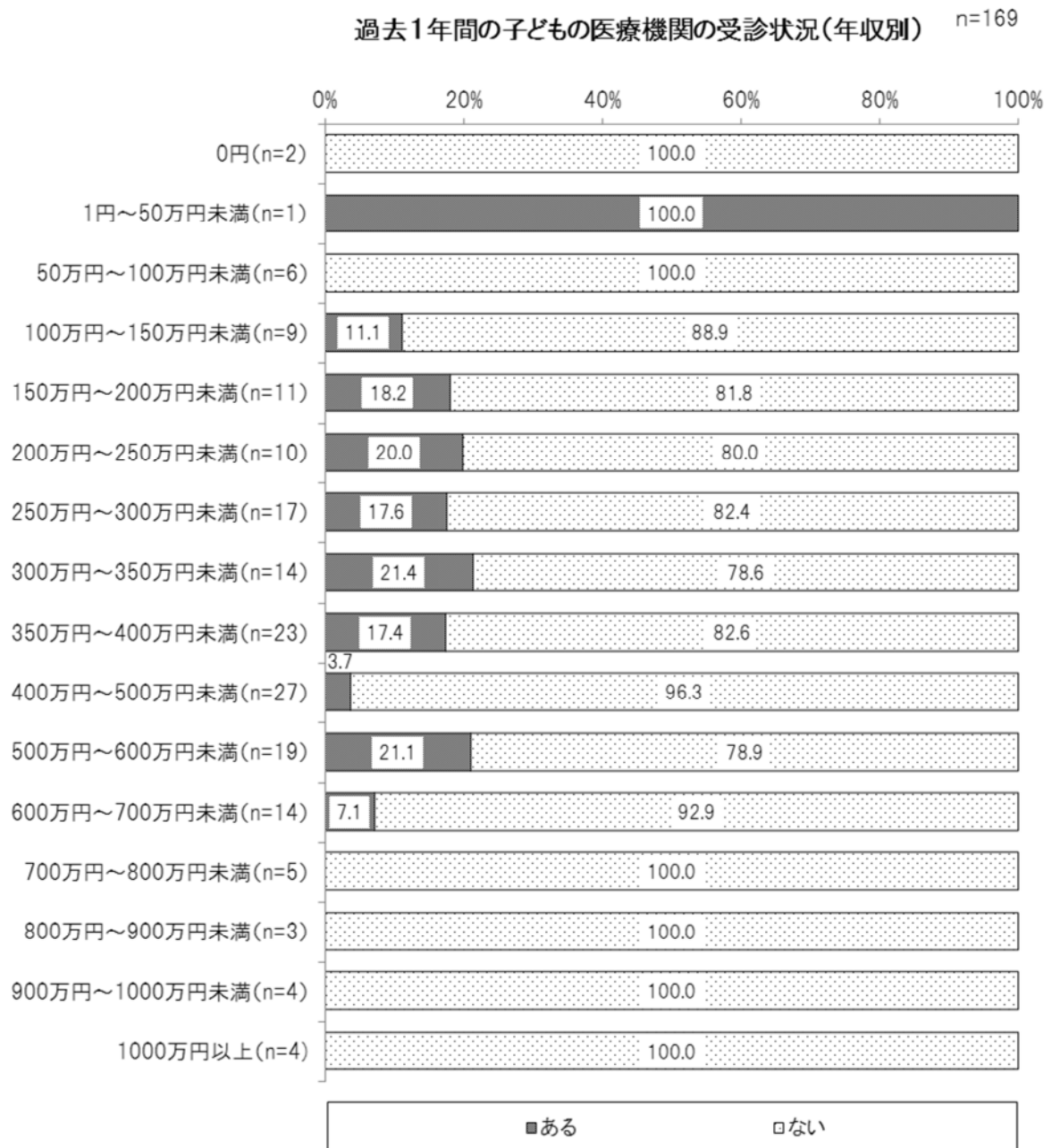
過去1年間の子どもの医療機関の受診状況

n=176



①年収別

年収別に過去1年間で子どもを医療機関に受診させなかったことの有無をみると、年収「400万円～500万円未満」の世帯では、「ある」と回答した人の割合は3.7%、「ない」と回答した人の割合は、96.3%となっている。

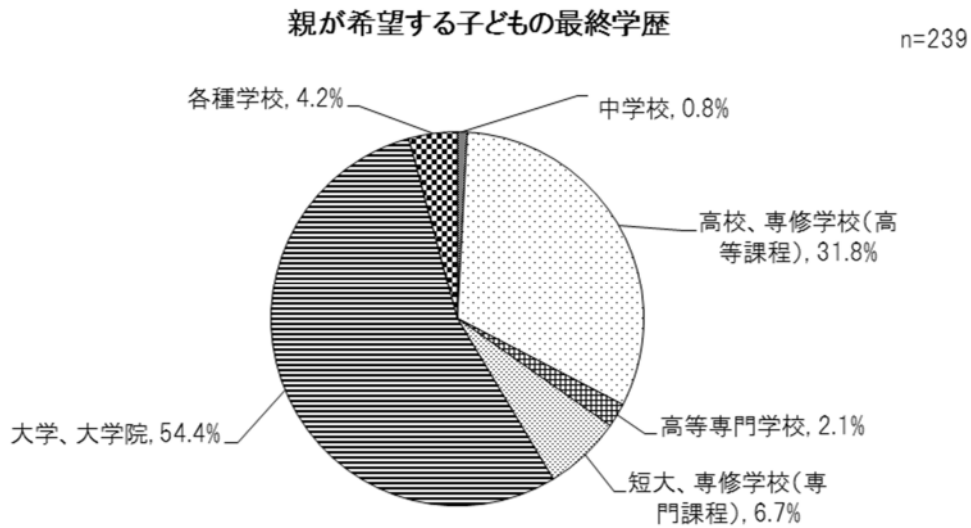


問 39

【高校生以下のお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。】

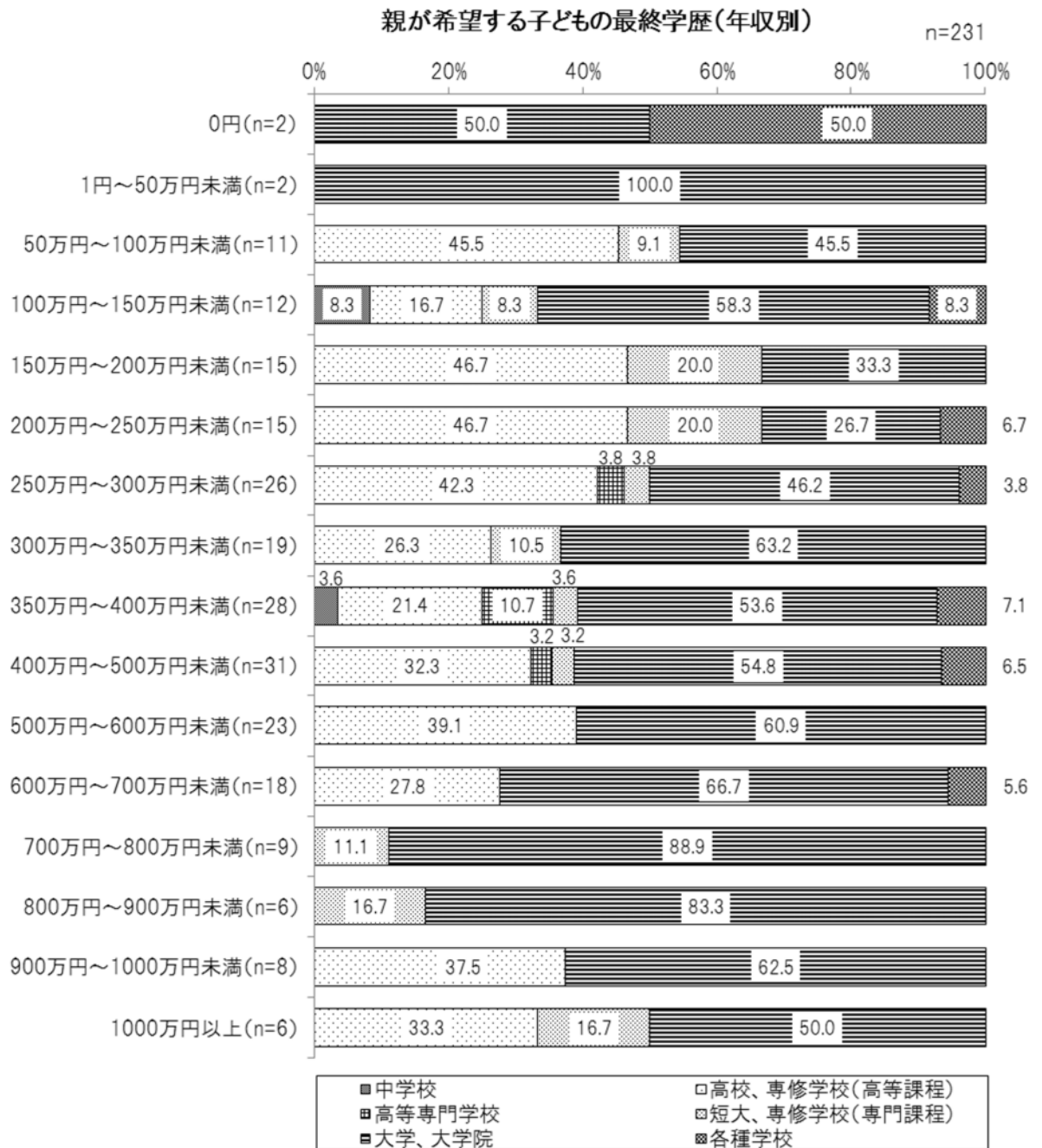
お子さんの進学をあなたはどこまで希望されていますか。

親が希望する子どもの最終学歴は、「大学、大学院」と回答した人の割合が 54.4%と最も高く、次いで「高校、専修学校（高等課程）」が 31.8%、「短大、専修学校（専門課程）」が 6.7%の順となっている。



①年収別

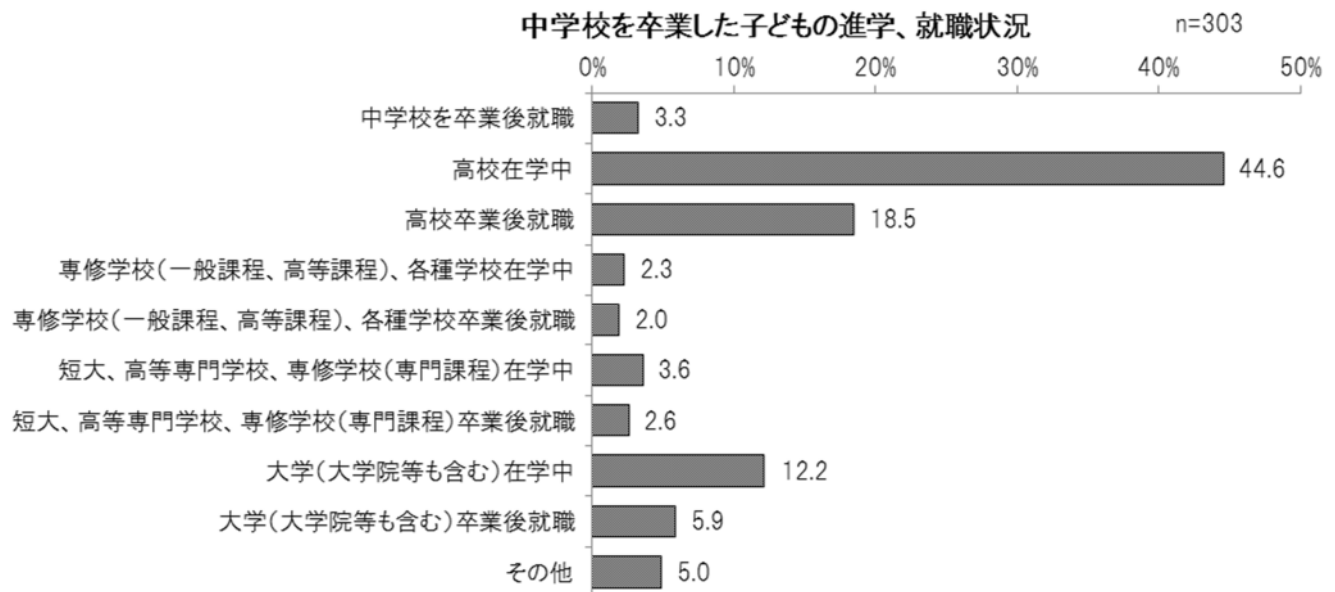
年収別に親が希望する子どもの最終学歴をみると、年収「400万円～500万円未満」の世帯では「大学、大学院」と回答した人の割合が54.8%と最も高く、次いで「高校、専修学校（高等課程）」と回答した人の割合が32.3%の順となっている。



問 40

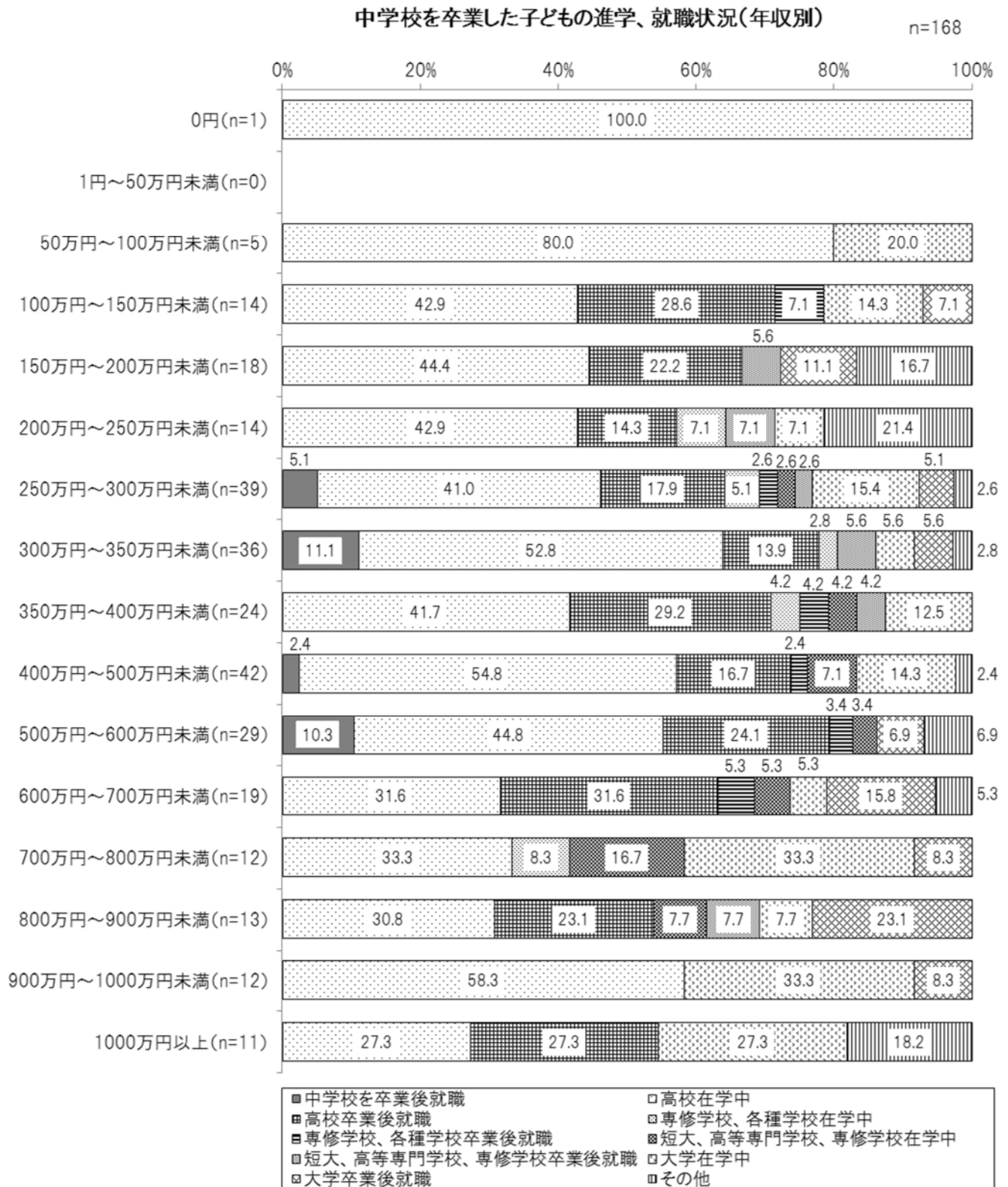
【中学校を卒業したお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。】
 お子さんの進学、就職状況について、該当するものすべてに人数を記入してください。すでに結婚されているお子さんについても数に含めてください。
 (「就職」には自営またはそれを手伝う場合を含めます。)

中学校を卒業した子どもの進路は、「高校在学中」が44.6%と最も高く、次いで「高校卒業後就職」が18.5%、「大学(大学院等も含む)在学中」が12.2%の順となっている。また、子どもの高校進学率は91.7%となっている。



①年収別

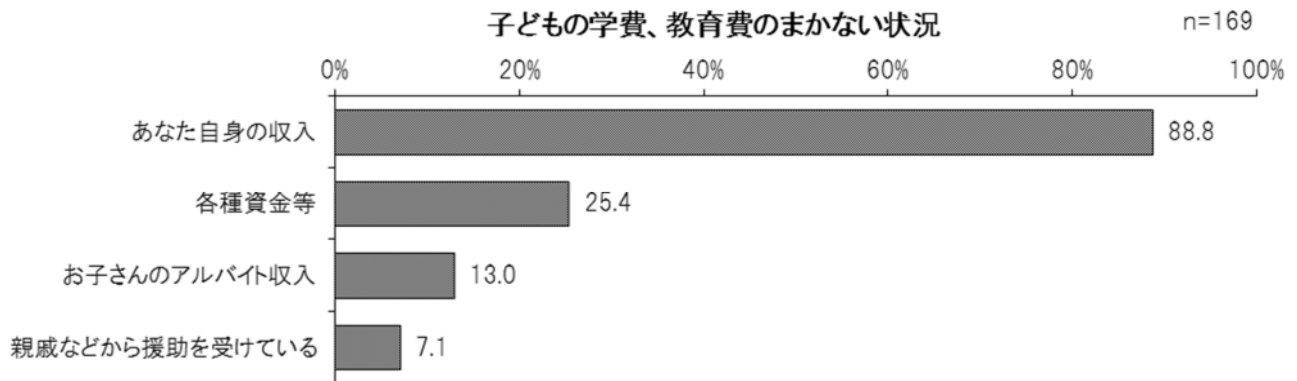
年収別に中学校を卒業した子どもの進学、就職状況をみると、年収「400万円～500万円未満」の世帯では、「高校在学中」と回答した人の割合が54.8%と最も高く、次いで「高校卒業後就職」と回答した人の割合が16.7%の順となっている。



問 41

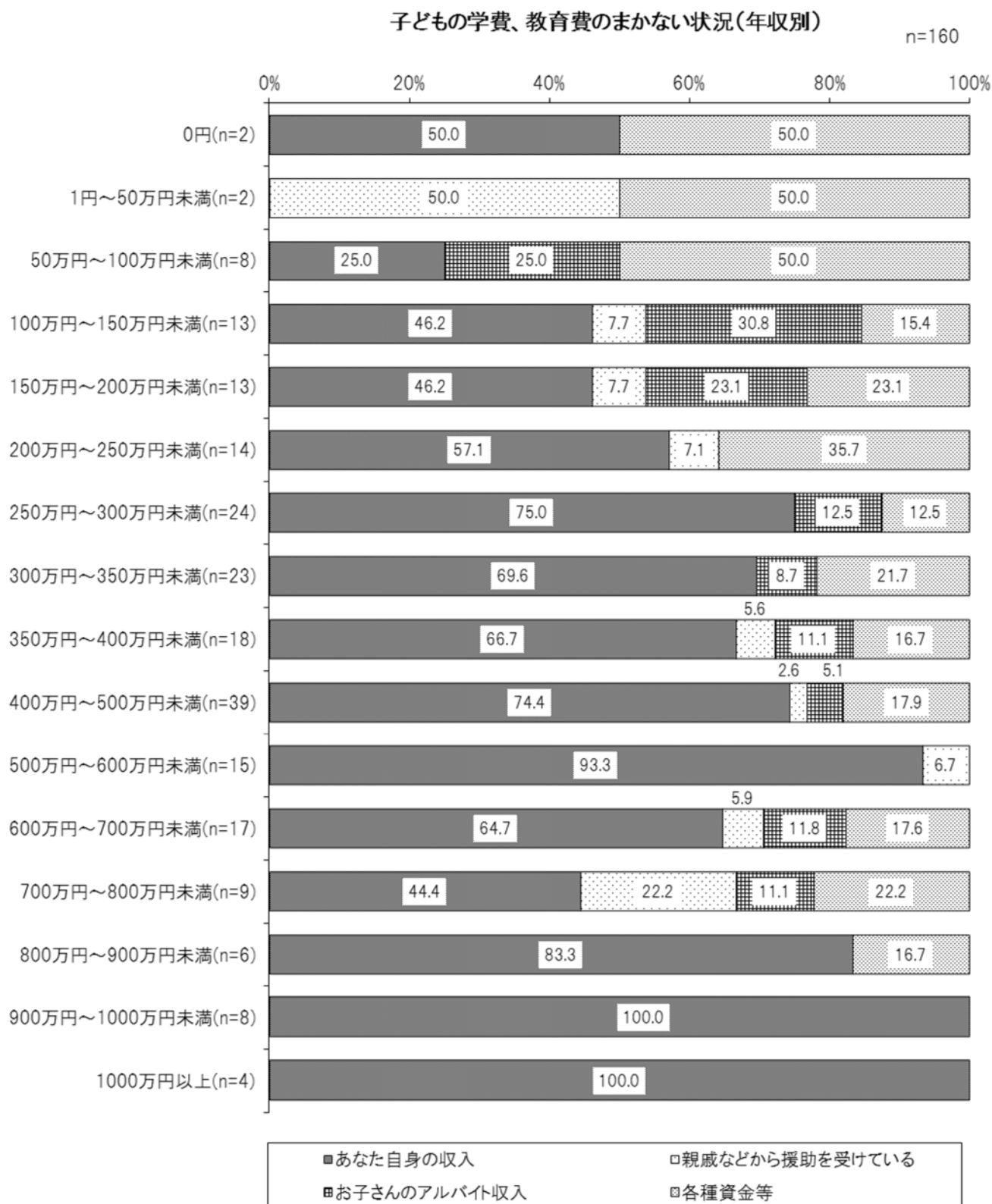
【高校、短大、専修学校、高専、大学、各種学校へ在学しているお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。】
お子さんの学費、教育費は何によってまかなっていますか。該当するものすべてお答えください。

高校以上に在学している子どもの学費、教育費のまかない状況は、「あなた自身の収入」が88.8%と最も高く、次いで「各種資金等」が25.4%、「お子さんのアルバイト収入」が13.0%の順となっている。



①年収別

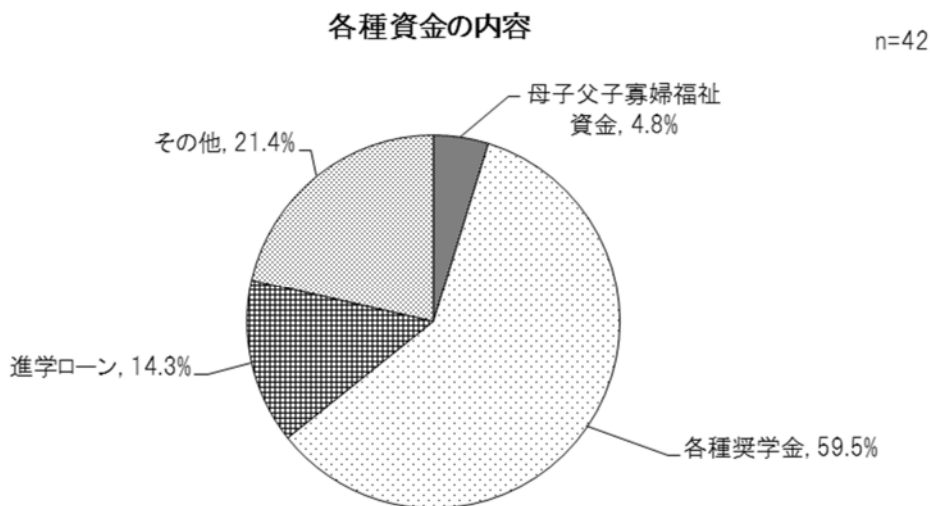
年収別に高校以上に在学している子どもの学費、教育費のまかない状況をみると、年収「400万円～500万円未満」の世帯では、「あなた自身の収入」と回答した人の割合が74.4%と最も高く、次いで「各種資金等」と回答した人の割合が17.9%の順となっている。



問 41-1

「4 各種資金等」とお答えになった方について、どのような資金ですか。主なものを1つお答えください。

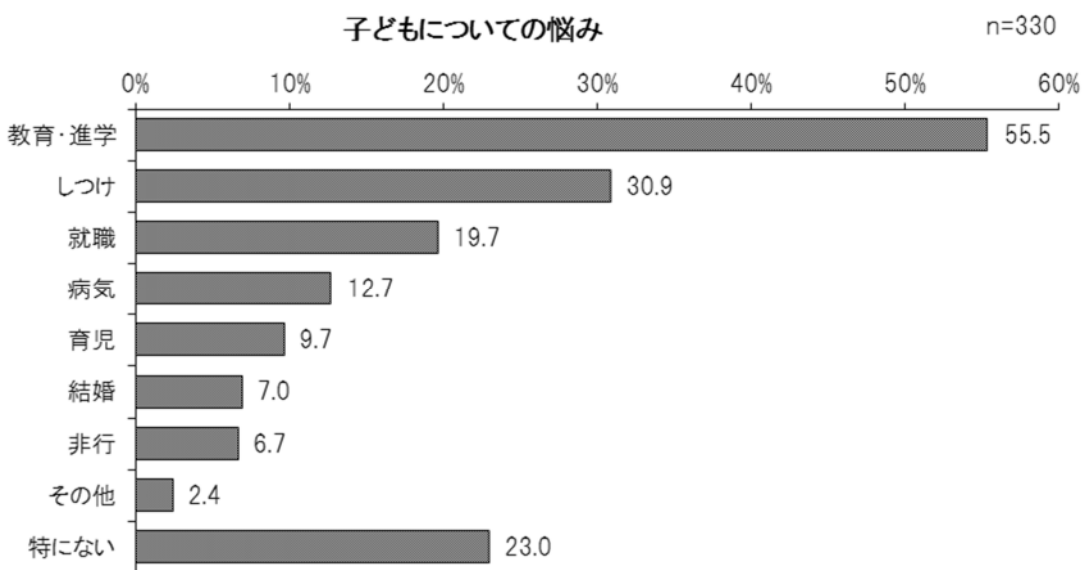
各種資金の内容は、「各種奨学金」と回答した人の割合が59.5%と最も高く、次いで「進学ローン」が14.3%の順となっている。



問 42

あなたは、現在お子さんについて何かお悩みになっていることがありますか。主なものを3つ以内でお答えください。

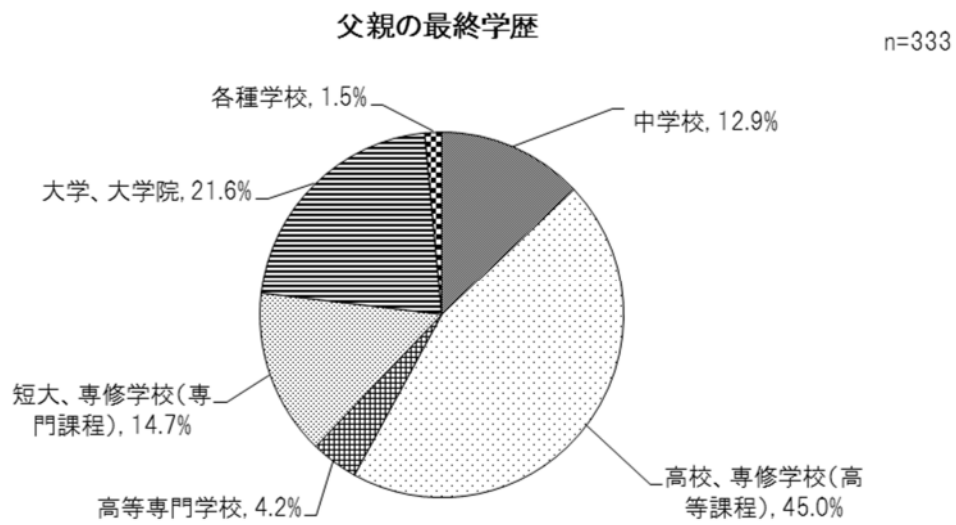
子どもについての悩みは、「教育・進学」と回答した人の割合が55.5%と最も高く、次いで「しつけ」が30.9%、「就職」が19.7%の順となっている。



問 43

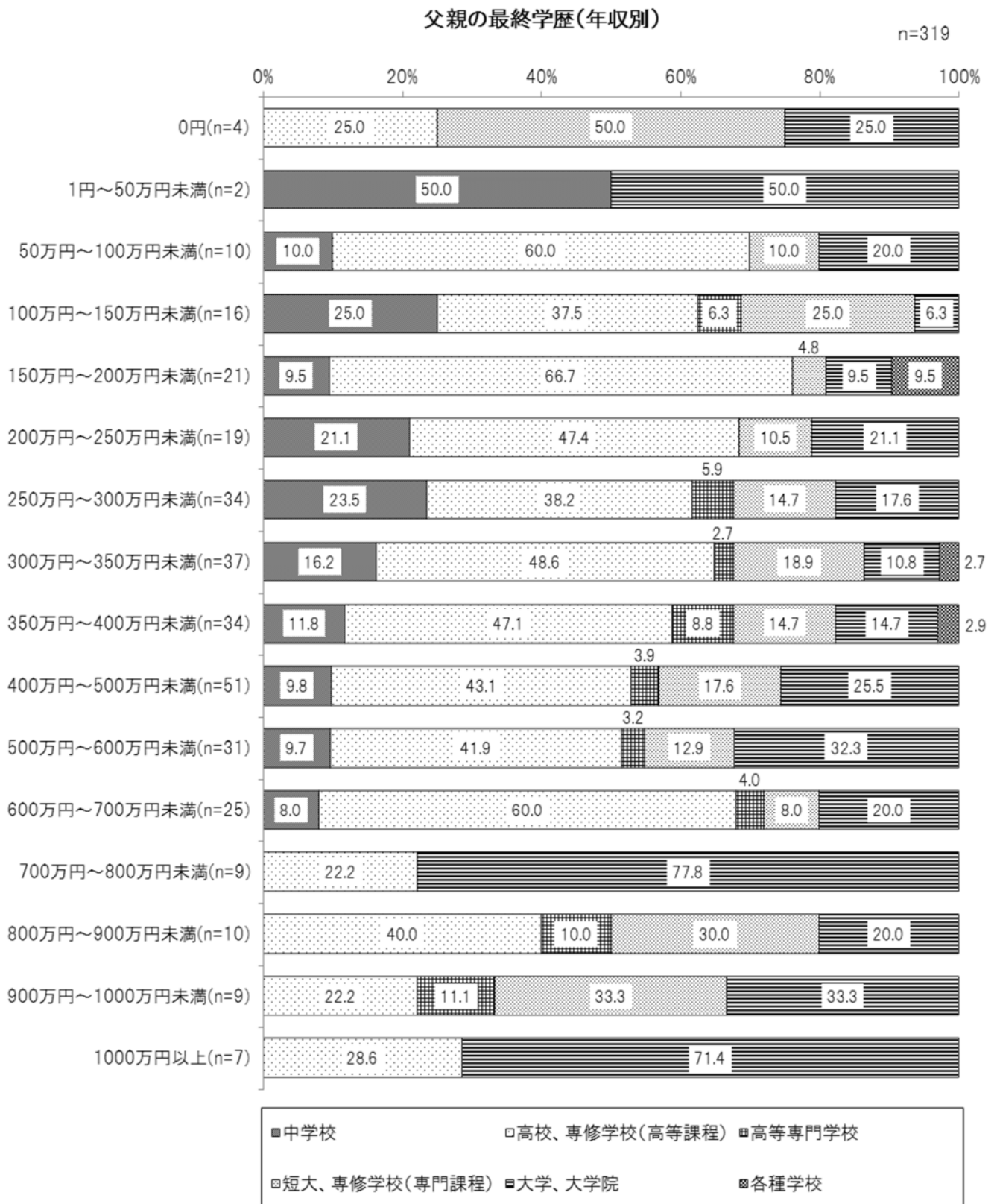
あなたの最終学歴は何ですか。

最終学歴は、「高校、専修学校（高等課程）」と回答した人の割合が 45.0%と最も高く、次いで「大学、大学院」が 21.6%、「短大、専修学校（専門課程）」が 14.7%の順となっている。



①年収別

年収別に最終学歴をみると、年収「400万円～500万円未満」の世帯では、「高校、専修学校（高等課程）」と回答した人の割合が43.1%と最も高く、次いで「大学、大学院」と回答した人の割合が25.5%の順となっている。

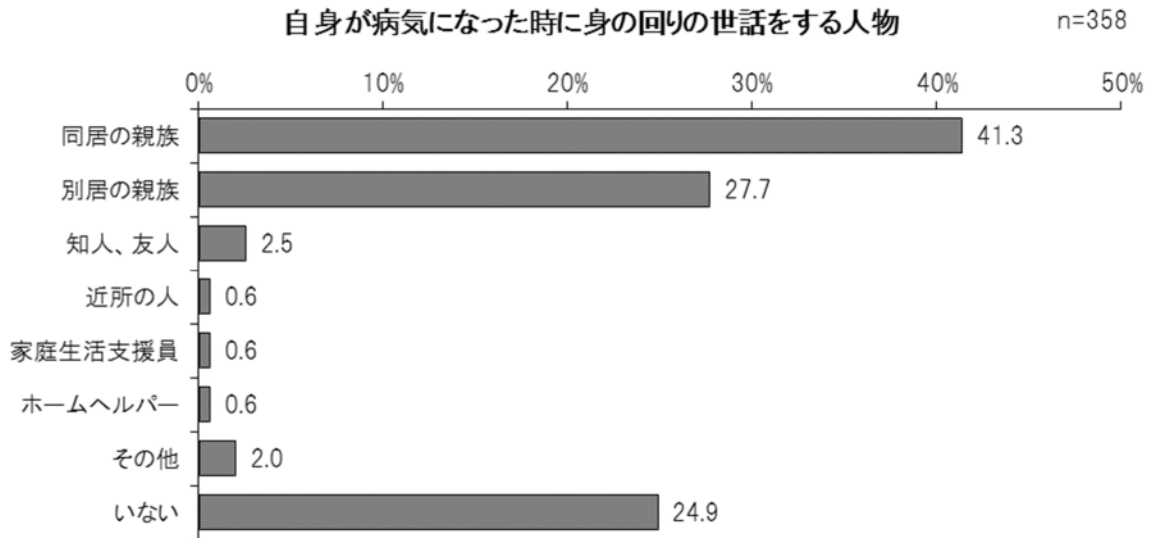


(8) 生活等について

問 44-A

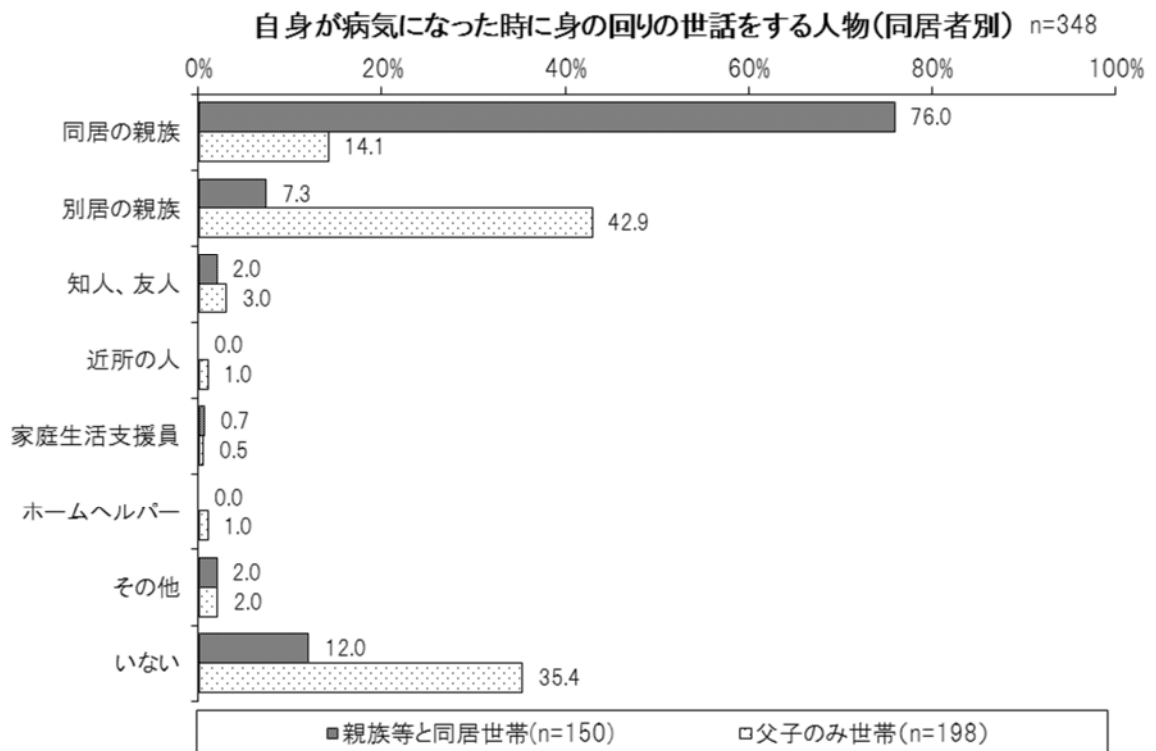
あなたやお子さんが病気などで一時的に看護が必要になったとき、身の回りの世話は、主にどなたがしますか。
【あなたが病気するとき】

自身が病気になった時に身の回りの世話をする人物は、「同居の親族」と回答した人の割合が41.3%と最も高く、次いで「別居の親族」が27.7%の順となっている。また、「いない」と回答した人の割合が24.9%となっている。



①同居者別

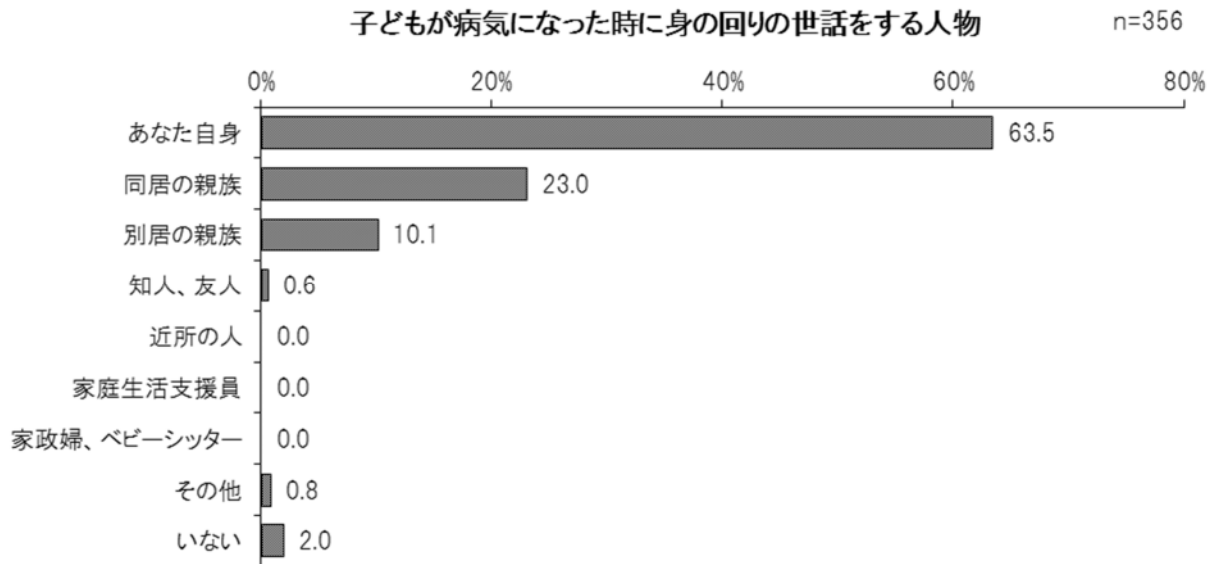
同居者別に自身が病気になった時に、身の回りの世話をする人物をみると、父子のみ世帯は「いない」と回答した人の割合が35.4%となっており、親族等と同居世帯の12.0%より23.4ポイント高くなっている。



問 44-B

あなたやお子さんが病気などで一時的に看護が必要になったとき、身の回りの世話は、主にどなたがしますか。
【お子さんが病気するとき】

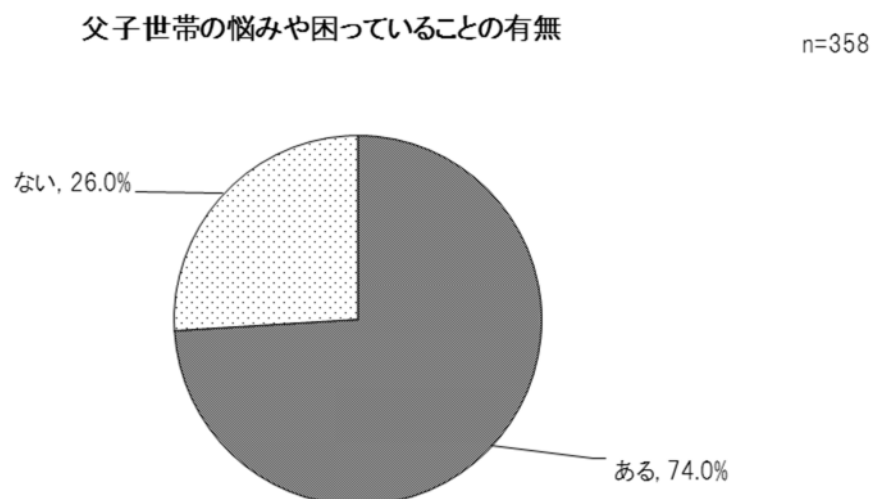
子どもが病気になった時に身の回りの世話をする人物は、「あなた自身」と回答した人の割合が 63.5%と最も高く、次いで「同居の親族」が 23.0%、「別居の親族」が 10.1%の順となっている。



問 45

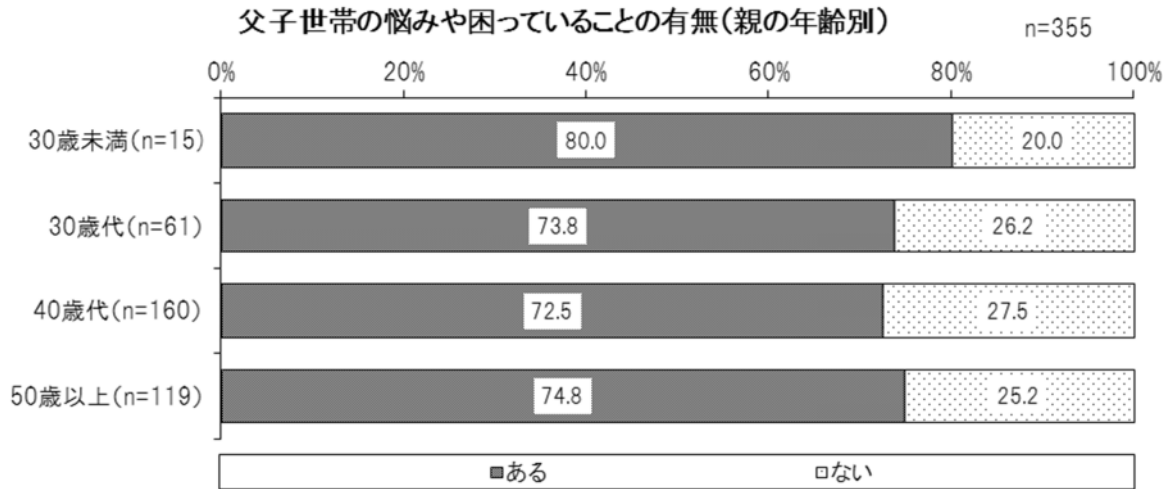
あなたは、現在お悩みになっていること・困っていることがありますか。

悩んでいることや困っていることの有無は、「ある」と回答した人の割合が 74.0%となっている。一方で、「ない」と回答した人の割合が 26.0%となっている。



①親の年齢別

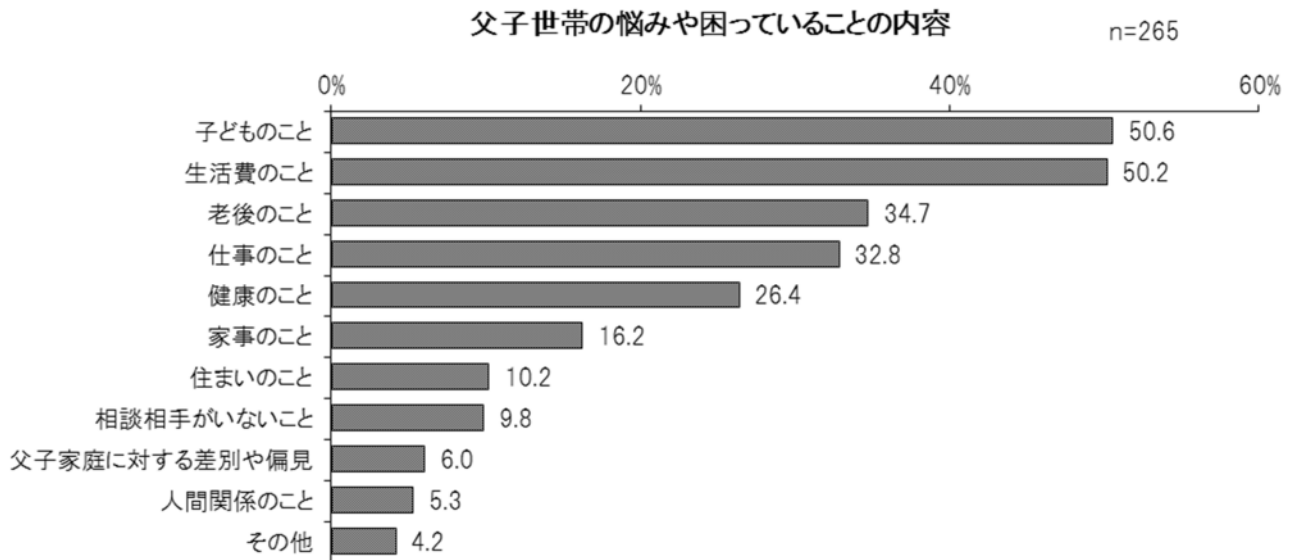
親の年齢別に悩んでいることや困っていることの有無をみると、悩みが「ある」と回答した人の割合は30歳未満が80.0%と最も高く、次いで50歳以上が74.8%の順となっている。



問 45-A

「1 ある」とお答えになった方について、その内容の主なものを、3つ以内でお答えください。

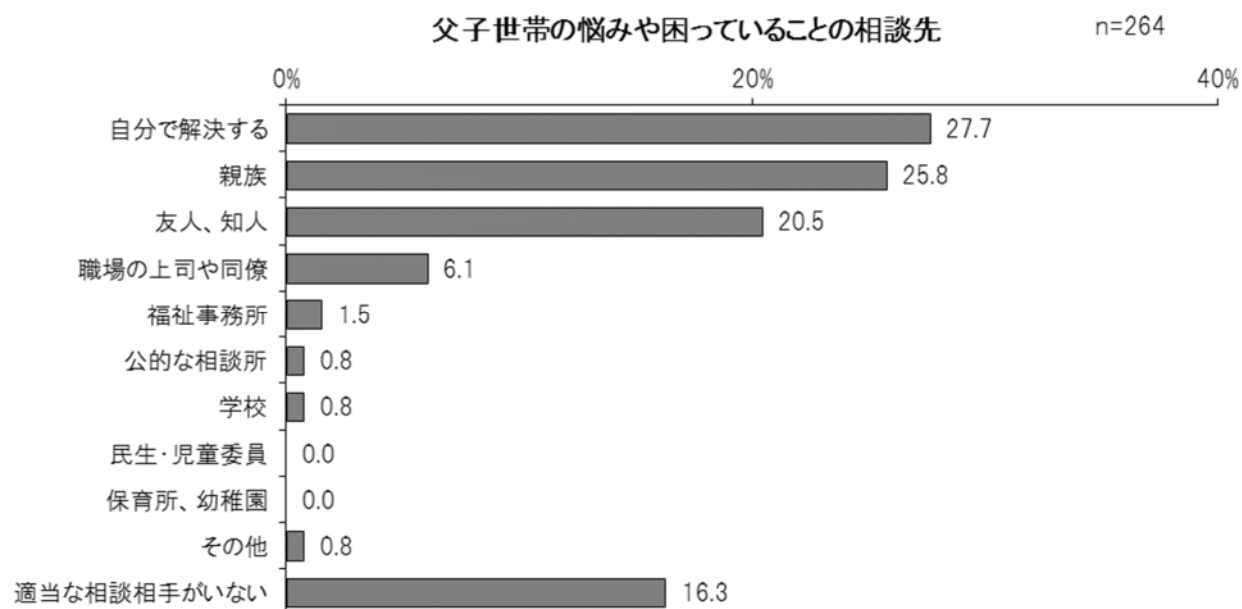
悩んでいることや困っていることの内容をみると「子どものこと」が50.6%と最も高く、次いで「生活費のこと」が50.2%、「老後のこと」が34.7%、「仕事のこと」が32.8%、「健康のこと」が26.4%の順となっている。



問 45-B

「1 ある」とお答えになった方について、主に誰に相談していますか。1つお答えください。

悩んでいることや困っていることの相談先は、「自分で解決する」と回答した人の割合が27.7%と最も高く、次いで「親族」が25.8%、「友人、知人」が20.5%の順となっている。また、「適切な相談相手がない」と回答した人の割合が16.3%となっている。

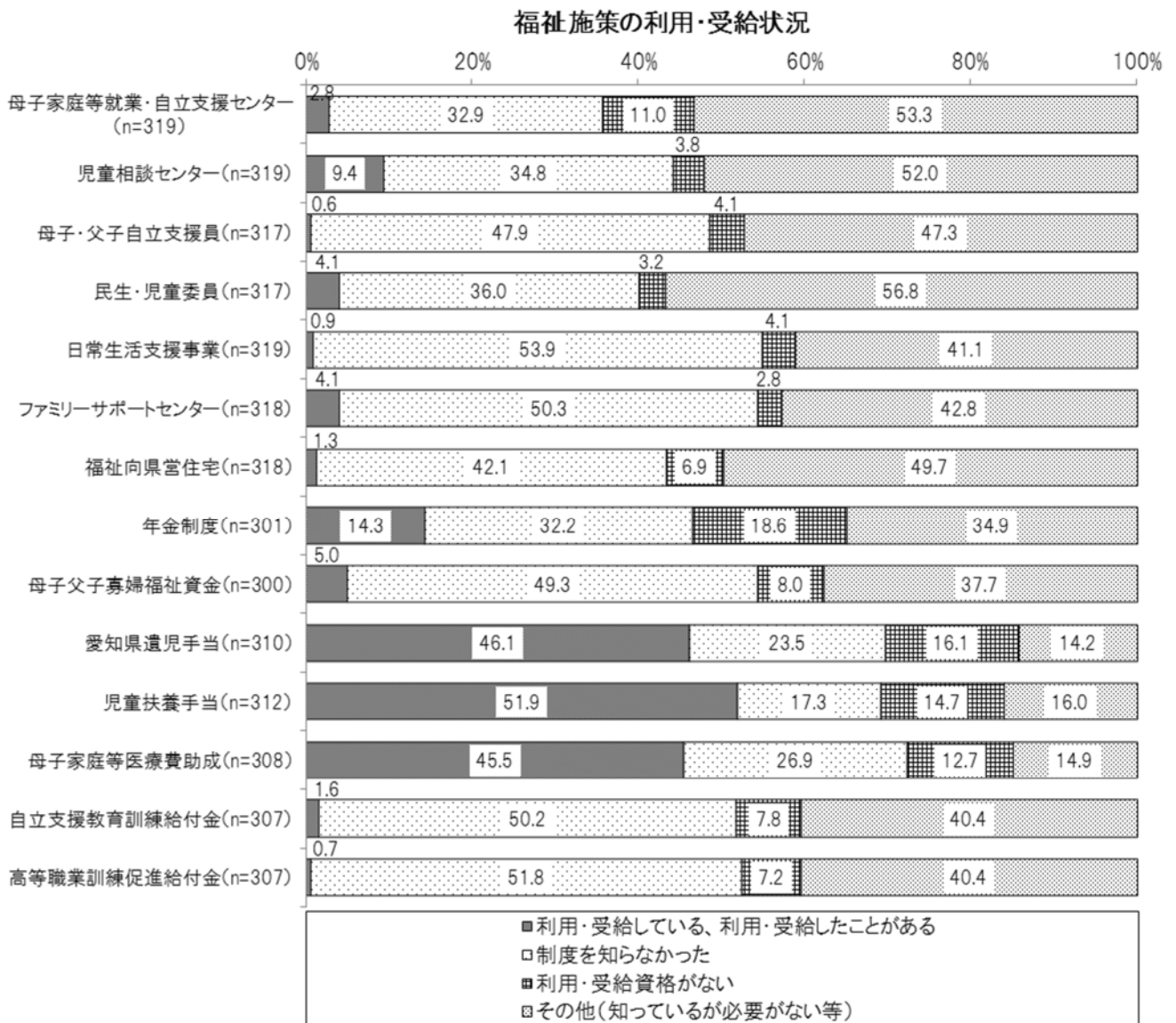


(9) 福祉施策の利用・受給状況について

問 46

次の施策、制度等を利用・受給されたことがありますか。ア～エのそれぞれについて、該当する番号を○で囲んでください。

福祉制度の利用状況について、施策、制度等を「利用・受給している、利用・受給したことがある」と回答した人の割合が高い項目は、「児童扶養手当」が51.9%、「愛知県遺児手当」が46.1%、「母子家庭等医療費助成」が45.5%の順となっている。一方で、「制度を知らなかった」と回答した人の割合が高い項目は、「日常生活支援事業」が53.9%、「高等職業訓練促進給付金」が51.8%、「ファミリーサポートセンター」が50.3%の順となっている。



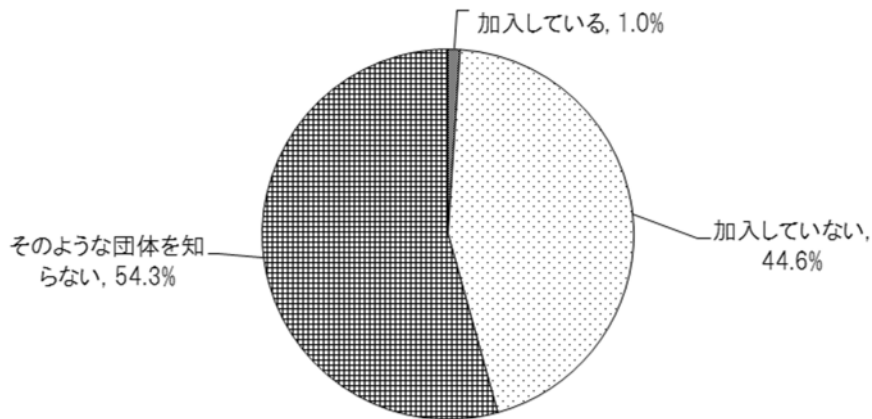
問 48

あなたは、母子・父子福祉団体に加入されていますか。

母子・父子福祉団体の加入状況は、「加入している」と回答した人の割合が 1.0%、「加入していない」と回答した人の割合が 44.6%となっている。一方で、「そのような団体を知らない」と回答した人の割合が 54.3%となっている。

母子・父子福祉団体の加入状況

n=289

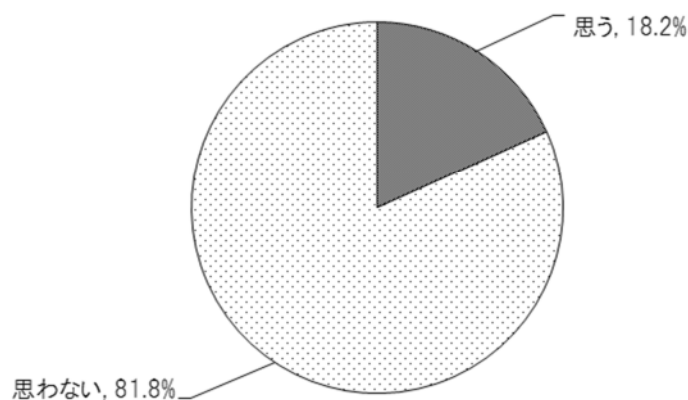
**問 48-1**

「2 加入していない」「3 そのような団体を知らない」とお答えになった方について、今後加入したいと思いますか。

母子・父子福祉団体への加入意思は、加入したいと「思う」と回答した人の割合が 18.2%となっている。一方で、加入したいと「思わない」と回答した人の割合は 81.8%となっている。

母子・父子福祉団体への加入意思

n=274



(10) 県・市町村の施策について

問 49

県や市町村では父子世帯の支援策として①子育て・生活支援②就業支援③養育費の確保④経済的支援を柱に各事業に取り組んでいます。
 現在行っている下記事業のうち、父子世帯の方を支援する施策としてあなたが、期待する事業を3つまでお答えください。

期待する、県や市町村が支援する施策は、「仕事から帰るまで安心してお子さんを預けられる制度」が40.0%と最も高く、次いで「お子さんの学費、通学交通費などの就学援助」が39.0%、「病気や冠婚葬祭、出張のときなどに一時的にお子さんを預けられる制度」、「母子・父子世帯等の医療費助成」がそれぞれ23.8%の順となっている。

